# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	外国青年招致	事業			事業期間	平成	14年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外		第7期総合計画 の位置付け	3-2-1	他に関連する 基本事業						所管課係	学務課学校教育係
(何のために実施する	通語である英語で	と好きになる土壌	を形成する。また	人材の育成、特に 、自国と外国と <i>0</i>	- に児童生徒に外国人 D文化の違いを理解	、とのふれあい? ¥し、他文化を <del>I</del>	-man	手段 (どのような方法で 実現するのか)	外国青年を招致し る。さらに、社会	ン、教育委員会の 会教育課が主管す	嘱託職員として任 る国際交流事業に	用する。小中学校 参加し、市民と <i>の</i>	での外国語に係る! )交流を深める。	受業に指導助手(ALT)として派遣す
対象 (誰・何を対象として いるのか)	広い視野を持つ人材の育成を図る。 実現するのか な。とうに、社会教育家が主旨する国際文派を深める。 成果 (どのような効果が 得られるのか)   成果 (どのような効果が 得られるのか)   成果 (どのような効果が 得られるのか)   会話の力をつけるのに役立てるとともに、児童生徒が普段から外国人と交流することで、国際感覚を身につけさせる。											をもって体験することができ、英 で、国際感覚を身につけさせる。		
事業開始時の状況緯	開始時の状況・これまでの経 平成14年度より国際化時代に対応した児童生徒の育成のため、外国青年を招致し、特に中学校の英語アシスタント(ALT)として派遣している。 令和2年度より小学校3~4年生で外国語活動、5~6年生で外国語(英語)が教科化されることに伴い、1名増員し現在は2名体制となっている。また、国際交流事業として、市民とふれあいをもち、市民の国際化への一助となっている。													

### [DO]

実績

						第1次実施3力年計画				第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	-画		第 7 期
					第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国	j	費	計画額	, , , , , , ,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	, , , , , , ,	0				0				, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	0	0
				予算計上額				0				0					0	0
				実 績 額				0				0					0	0
	道	3	費	計 画 額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
				実 績 額				0				0					0	0
	地	方(	責	計 画 額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
投				実績額				0				0					0	0
	そ	の #	他	計 画 額				0				0					0	0
入				予算計上額				0				0					0	0
<b>≥</b>				実 績 額				0				0					0	0
	- #	设 財 派	源	計画額	8, 327, 000	8, 327, 000	8, 327, 000	24, 981, 000	9, 839, 000	9, 839, 000	9, 839, 000	29, 517, 000	9, 839, 000	9, 839, 000	9, 839, 000	9, 839, 000	39, 356, 000	93, 854, 000
れ				予算計上額	8, 327, 000		9, 435, 000	27, 488, 000	9, 839, 000	10, 778, 000		20, 617, 000					0	48, 105, 000
_				実績額	5, 501, 128	7, 876, 262	7, 596, 000	20, 973, 390	8, 047, 740			8, 047, 740					0	29, 021, 130
15	事業	費合記		計画額	8, 327, 000	8, 327, 000	8, 327, 000	24, 981, 000	9, 839, 000	9, 839, 000	9, 839, 000	29, 517, 000	9, 839, 000	9, 839, 000	9, 839, 000	9, 839, 000	39, 356, 000	93, 854, 000
事				予算計上額	8, 327, 000	9, 726, 000	9, 435, 000	27, 488, 000	9, 839, 000	10, 778, 000	0	20, 617, 000	0	0	0	0	0	48, 105, 000
				実 績 額	5, 501, 128	7, 876, 262	7, 596, 000	20, 973, 390	8, 047, 740	0	0	8, 047, 740	0	0	0	0	0	29, 021, 130
業費の	事業	費予算0 内容	מ		費用弁償・旅費 976千円 消耗品費 80千円 役務費 62千円	費用弁償・旅費 1,838千円 消耗品費 120千円	役務費 68千円		1,193千円 消耗品費 120千 円	報酬 8,620千円 費用弁償・旅費 1,206千円 消耗品費 120千円 役務費 88千円 負担金 744千円								
推移	前年	度予算 & D比較 減理由)					に係る費用弁償 等の減額計上		報酬単価の増	報酬単価改定に よる増								
		との比 減理由)			で、来日自体が大幅に遅れたことにより、報酬等の支出額が減ったため	にコロナウイル スによるホテル	ALTの交代時 がなかったため 費用弁償等の減 額		ALTの交代時がなかったため がなかったため 費用弁償等の減 額									

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名:小中学校ALT年間派遣日数	指標の求め方:小中学校ALT年間派遣計画に基づく派遣日数
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名:小中学校ALT派遣達成率	指標の求め方:小中学校ALT派遣年間実績/小中学校ALT年間派遣計画

					たいがことの中	0 + FI			(内久候/ バ·ヤナ()				http://	0.454.45	1=		
				the a term		3 力年計画		the a term	第2次実施			m = m =		3次実施4力年記			第7期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		活動指標 1	計画値	190	190			190	190	190		190	190				
	指	(単位/日)	実績値	95	204			206									
	標	成果指標 1		100	100	100		100	100	100		100	100	100	100		
		(単位/%)	八根區	50. 0	107. 4	110. 0		108. 4									
			をもとに評価)				あまり達成されていない										
			をもとに評価)				あまり上がってい ない										
		事業の効率	性 対する成果)				上がっている										
		総合評価					良好である										
事務事業評価	評価内容		合評価の判断 由または指標 実績値に関す 自己分析	ルい大と等日なり減小さと中に国土れ実た、水の大と等日なり減小さと中に国生れ実た、大型で、大型で、大型で、大型で、大型で、大型で、大型で、大型で、大型で、大型で	ルる隔にもりてもら指復た配の合やもをを機構といい、選別のでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	国際感覚を養うも生まれております。	令和3年度では新型コロナウイルス感染症の影響	された2名のALT との触れ合いの 中で外国や言語	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向	性				現状のまま継続										
			力の向上などが誤 生以上で外国語活	₹題となってきて €動もしくは英語 §を学ぶ一助とし	・ 国語によるコミュ いる中、令和2年度 が教科化されてい て、重要であると た。	ほより小学校3年 るなど、本事業	R8 :				R10 :						

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	総合的な学習	の時間交付金	<b>全事業</b>		事業期間	平成	14年度 ~ -	- 年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-2-1	他に関連する 基本事業						所管課係	学務課学校教育係
目的 (何のために実施するのか)	児童・生徒が自身 知識や技能等を材	ら課題を見つけ、 相互に関連付け、	自ら考え、主体的 学習や生活におい	に判断し、課題: て生かし、それ	- を解決する資質や能 らが総合的に働くよ	≝力を育て、名 ∶うにする。	教科で身につけた	手段 (どのような方法で 実現するのか)	総合的な学習の問	時間の学習に係る	消耗品費、備品費	党及び交通費等を助	力成。	
対象 (誰・何を対象として いるのか)	各小中学校の児童	<b>童生徒</b> 。						成果 (どのような効果が 得られるのか)	児童・生徒各々の	の主体的及び創造	的に課題を解決す	る力を身につける	させることができる	5.
事業開始時の状況・これまでの経 韓 地域や学校、児童生徒の実態等に応じて、横断的・総合的な学習や児童生徒の興味・関心等に基づく学習など創意工夫を活かした教育活動を実施するものとして開始された。 行財政改革により補助金交付金一律10%カットの方針で、平成17年度に削減、さらに平成20年度に10%削減されたが、児童生徒数の減少もあり大きな影響は生じていない。 また、近年は児童生徒数の減少傾向に鑑み予算を組んでいるため、徐々に予算額は減少しているがこれによっても大きな影響は無いところである。														

# [DO]

実績

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3 次実施4カ年計	·画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	地方	请 債	計画額				0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
,			実績額				0				0					0	0
入	そ の	) 他	計画額				0				0					0	0
\$			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
れ	— 般	財源	計画額	730, 000	730, 000	,	2, 190, 000	583, 000	,	583, 000	1,111,111	583, 000	583, 000	583, 000	583, 000	2, 332, 000	6, 271, 000
た		L	予算計上額	730, 000	700, 000	670, 000	2, 100, 000	583, 000	510, 000		1, 093, 000					0	3, 193, 000
/-			実績額	691, 000	651, 000		1, 970, 000	541, 000			541, 000					0	2, 511, 000
事	事業費	合計	計画額	730, 000	730, 000	730, 000	2, 190, 000		583, 000	583, 000	1, 749, 000	583, 000	583, 000	583, 000	583, 000	2, 332, 000	6, 271, 000
		L	予算計上額	730, 000	700, 000	670, 000	2, 100, 000	583, 000	510, 000	0	1, 093, 000	0	0	0	0	0	3, 193, 000
業			実績額	691, 000	651, 000	628, 000	1, 970, 000	541, 000	0	0	541, 000	0	0	0	0	0	2, 511, 000
費の	事業費内	予算の 容		小学校507千円		交付金 小学校470千円 中学校200千円		小学校413千円	交付金 小学校354千円 中学校156千円								
推移	前年度	予質と		児童数の減少を 鑑み減額		児童数の減少を 鑑み減額			児童数の減少を 鑑み減額								
	の日(増減)	比較															
	実績と (増減	の比較理由)		児童数削減分に よる減	児童数削減分に よる減	児童数削減分に よる減		児童数削減分に よる減									

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:交付金額	指標の求め方:総合的な学習の時間交付金額
成果指標1(「成果」をもとに設定)		指標の求め方:全国学力・学習状況調査における小・中の設問「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思う」に対して「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合

					第1次実施	(3カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4力年計	十画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			1 = +	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	指	活動指標 1 (単位/千)		730 691	730 651	730 628		707 541	707	707		656	656	656	656		
	標	成果指標 1		76. 0	76. 0	76. 0		77. 0	77. 0	77. 0		78. 0	78. 0	78. 0	78. 0		
		(単位/%)	八根區	80. 6	80. 6	88. 4		74. 6									
		事業の達成 (活動指標:	t度 をもとに評価)				ほぼ達成されている										
		事業の成果 (成果指標:	! をもとに評価)				少し上がっている										
		事業の効率	<sup>延</sup> 性 対する成果)				少し上がっている										
		総合評価					良好である										
事務事業評価	評価内容	理の	合評価の判断	評い地か験してで性が結れて、活体 れ業造び解いたという。	り翻手は、 り割け、 が表と、 が表と、 がまり、 がまり、 がまり、 がまり、 がまり、 がまり、 がまり、 がまり、 がまり、 がまり、 がまり、 がまり、 がまり、 がまり、 がにいて、 でい	り組みに割った。 対すを、活体してで はして、 がして、 がして、 がして、 がして、 がして、 がして、 がして、 がして、 がして、 がして、 がして、 がして、 がして、 がして、 がいで、 、	地域しか験わか験わか験わか験わかりないただった。 地域しかのたたった。 が関するでは、 が関するでは、 がは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	り組みに割か、 は8都かに割か、 は8間かたをでいる がをでいる がをでいる できる できる できる できる できる できる できる できる できる でき	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向	1性				現状のまま継続										
			自らが考え、その やチームワーク、	D思考力や判断力 感性など、人間 ききる力や資質の	性の向上を高める 向上を図るうえで	をどう使うかを リーダーシッ学 など、他の学習 必要な授業であ	R8 :			1	R10 :						

#### [PLAN]

事務事業の目的と成果

	総合戦略掲載	0	過疎計画掲載	0
--	--------	---	--------	---

									_,				<u> </u>
事 業 名	放課後学習サ	ポート事業			事業期間	平成2	29年度 ~ -	- 年度			•		
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外		第7期総合計画 の位置付け	3-2-1	他に関連する 基本事業					 所管課係	学務課学校教育係
	将来的な学力の言学習習慣の定着が		4~6年生の時期 を図る。	に、基礎基本の原	内容を学習できる機	き会を提供するこ	ことで、望ましい	(どのような方法で		寸し、講習を受講			い基礎基本を学習できる機会とし る指導映像及びテキストを使用し
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内小学校4年生	から6年生までの	希望児童。					成果 (どのような効果が 得られるのか)	学力の底上げ及び	<b>ゾ家庭学習の習</b> 慣	化。		
全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、砂川市における児童生徒の学力・学習状況を把握する平成28年度全国学力・学習状況調査が4月に実施され、全国・全道平均を下回っている結果となっていた。当該結果を踏ま													

#### [DO]

実績

天板																(単位:円)
				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	道 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地 方 債	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	その他	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
入		実 績 額				0				0					0	0
	一般財源	計画額	1, 733, 000	1, 733, 000	1, 733, 000	5, 199, 000	1, 518, 000	1, 518, 000	1, 518, 000	4, 554, 000	1, 518, 000	1, 518, 000	1, 518, 000	1, 518, 000	6, 072, 000	15, 825, 000
さ		予算計上額	1, 733, 000	1, 733, 000	1, 518, 000	4, 984, 000	1, 518, 000	1, 133, 000		2, 651, 000					0	7, 635, 000
-to		実 績 額	1, 296, 918	1, 298, 000	1, 518, 000	4, 112, 918	1, 111, 000			1, 111, 000					0	5, 223, 918
れ	事業費合計	計画額	1, 733, 000	1, 733, 000	1, 733, 000	5, 199, 000	1, 518, 000	1, 518, 000	1, 518, 000	4, 554, 000	1, 518, 000	1, 518, 000	1, 518, 000	1, 518, 000	6, 072, 000	15, 825, 000
<i>t</i> =		予算計上額	1, 733, 000	1, 733, 000	1, 518, 000	4, 984, 000	1, 518, 000	1, 133, 000	0	2, 651, 000	0	0	0	0	0	7, 635, 000
		実 績 額	1, 296, 918	1, 298, 000	1, 518, 000	4, 112, 918	1, 111, 000	0	0	1, 111, 000	0	0	0	0	0	5, 223, 918
事	事業費予算の			委託料 1,733千				委託料 1,133千								
業	内容		円	円	円		円	円								
*			前年度同額	前年度同額	令和4年度より		前年度同額	令和6年度より								
費					取り入れた指導 映像併用授業に			講師が2名←3名 の派遣となった								
	前年度予算と				より、全学年同			ことで、授業料								
の	の比較				時に開催できる			及び交通費が減								
推	(増減理由)				ようになったた め、委託料が引			額となったた め。								
1肚					き下がったこと			α).								
移					による。											
			令和3年度につ	令和4年度より			令和6年度より									
			いては、新型コ	学習塾で実際に			講師が2名←3名									
			ロナウイルス感 染症による緊急	使用している指			の派遣となった ことで、授業料									
			事態宣言及びま	<b>学咲像とナヤ</b> へ トを取り入れ			及び交通費が減									
	実績との比較		ん延防止等重点	全学年同時に開			額となったた									
	(増減理由)		措置の対象と	催することした	-		め。									
			なった期間にお いて、授業中止	ため、委託料の												
			となり、その分													
			減額となった。	減額となったた												
				め。												
			I.	<u> </u>	1		Ш	J.			l .					

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:平均参加児童数	指標の求め方:平均参加児童数
成果指標1(「成果」をもとに設定)		指標の求め方:全国学力・学習状況調査における小学校の設問「国語、算数の授業の内容はよく分かる」の 問いに対して「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合

				第 1 次字类	3 力年計画		1	笠のか字状	3 力年計画		1	, tete	3次実施4カ年記	4 iai		
			第 1 年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指標 1 計画値	}	16	16		18	18	18		20	20	20	20		
	指標	(単位/人)     実績値       成果指標 1     計画値	85.0	85.0	85. 0		87. 5	87. 5	87. 5		90.0	90. 0	90.0	90. 0		
	124	(単位/%) 実績値	87. 8		90. 1		90. 0	07.3	07. 0		30.0	30.0	30.0	30.0		
		事業の達成度				あまり達成されていない										
		(活動指標をもとに評価) 事業の成果				050.7.2.7.2.1.										
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				変わらない										
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				少し上がっている										
		総合評価				良好である										
事務事業評価	評価内容	総合評価の判 理由または指 の実績値に関す る自己分析	る間い民力4・語基をで習行しるコもが、展力4・語基をで習行ります。 おいい こり ラード できない こり 会 医学常に 学り できるまを あかい る は できない できません かい ない は できない は や がい は と かい く ない は で かい く ない は で かい く かい く かい く かい く かい く かい く かい は と かい く かい は	る間い民力4語基をで習けしるコも後ががか家が状間の6・本設、習さて。口あ、続、り間を非況学習と生数学るまをる効か禍滅ぼび後知習に鑑塾、がのぶこし身手と者の少みの小国基機といいに段考数影しばるしちの少みの小国を機といいに段考数影しばるしちの少みのはかりである。協学を使った。	る間い民力~語基をで習けしるコも後がが、家が状間の6・本設、習さて。口あ、続、家が状間の6・本設、習さて。口あ、続、の少みの小国基機といに段考数影しばるののののののよの小国基機といに段考数影しばるのののののの場のでは、「ないに段考数影しばるのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	ことから良好で あると判断し た。	る間い民力~4語基をで習けしる間い民力~4語基をで習けまた。 学常鑑塾、小国基礎と生数学るまをも 学常鑑塾、小国基礎としませる 学の少みのが思としいた段秀 である。 が一般を でいて、 の少みのがとしいた段秀 を が立て で置く を の少みのが としいた段秀 と のりののが としいた段秀 と のりののが とりに と が に のりののが と り に り に り に り に り に り に り に り に り に り	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向性				現状のまま継続										
	改善、	生の判断理由 改革の内容 R8、R10)	・ 、家庭学習のとなった。 とへの一トでも総 シンケートでも継続ま あり、「現状のま	ていると考えら して通わせたい	R8 :				R10 :							

#### [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 〇 過疎計画掲載 〇

事 業 名	中学校英語教	育推進事業			事業期間	令和	]3年度 ~ -	- 年度						·
事業性質区分	新規・継続	新規(予算)	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-2-1	他に関連する 基本事業						所管課係	学務課学校教育係
目的 (何のために実施するのか)	グローバル化が 助することで、 t	急速に進展する中 食定受検の機会を	、外国語によるコ 与え、生徒の英語	ミュニケーショ! カ及び学習意欲:	ン能力の向上などか を高め、英語教育の	「課題となって )向上を図る。	〔おり、検定料を補	手段 (どのような方法で 実現するのか)	各学校は保護者: 学校に対し交付:	から徴収した検定 決定通知後、直接	料を添えて団体申 保護者に検定料を	∃込をし、受検後、 -振り込む。	実績に応じて学	校から市に補助申請を行い、市は
対象 (誰・何を対象としているのか)	市内中学校に在第	鲁する生徒で、所	属中学校の団体申	込に限る。				成果 (どのような効果が 得られるのか)	生徒の英語力や	学習意欲及び英語	教育の向上。			
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	グローバル化がなより実施している		外国語による=	<b>1ミュニケーション</b>	能力の向上な	どが課題となってね	らり、検定料を補助	することで、検り	定受検の機会を与	え、生徒の英語力	及び学習意欲を高	<b>ふめ、英語教育の</b> 「	句上を図ることを目的に令和3年度

#### [DO]

実績

第1次実施3力年計画 第2次実施3力年計画 第3次実施4力年計画 第 7 期 第1年次 第2年次 第3年次 第4年次 第5年次 第6年次 第8年次 第9年次 第10年次 総合計画 実施3カ年 実施3カ年 第7年次 実施4カ年 合 計 合 計 合 計 合 計 (3年度) (4年度) (5年度) (6年度) (7年度) (8年度) (9年度) (10年度) (11年度) (12年度) 計画額 予算計上額 実 績 額 計画額 予算計上額 実 績 額 方 計画額 予算計上額 投 実 績 額 計画額 の 予算計上額 さ 実 績 額 一般財源 計画額 1, 035, 000 1, 035, 000 1, 035, 000 3, 105, 000 1, 052, 000 1, 052, 000 1, 052, 000 3, 156, 000 1, 052, 000 1, 052, 000 1, 052, 000 1, 052, 000 4, 208, 00 10, 469, 000 予算計上額 1, 035, 000 1, 266, 000 1, 197, 000 3, 498, 00 1, 121, 000 584, 000 1, 705, 000 5, 203, 000 実 績 額 322, 800 412, 000 337, 400 1, 072, 20 353, 000 353, 000 1, 425, 200 計画額 1, 052, 000 事業費合計 1, 035, 000 1, 035, 000 1, 035, 00 3, 105, 00 1, 052, 000 1, 052, 00 3, 156, 000 1, 052, 000 1, 052, 000 1, 052, 000 1, 052, 000 4, 208, 00 10, 469, 000 予算計上額 1, 035, 000 1, 266, 000 1, 197, 000 3, 498, 000 1, 121, 000 584, 000 1, 705, 000 5, 203, 000 実 績 額 412, 000 337, 400 322, 800 1, 072, 200 353, 000 353, 000 1, 425, 200 補助金 1,035千 補助金 1,266千 補助金 1,197千 補助金 1,121千 補助金 584千円 費 事業費予算の の 内容 推 令和3年度新規 受検見込み者数 生徒数の減 受検見込み者数 生徒数の減少や は生徒数の減に実績(受験率)より減ったが、を鑑み減額 事業 は生徒数の減に 前年度予算と より減ったが、 の比較 受検料単価が値 受検料単価が値 (増減理由) 上がりしたため 上がりしたため 受検者見込数 受検者見込数 受検者見込数 受検者見込数 (全生徒数)に対 (全生徒数)に対 (全生徒数)に対 (全生徒数)に対 実績との比較 し、受検者約し、受検者約 し、受検者約 し、受検者約 (増減理由) 31%であったた 25%であったた 27%であったた 35%であったた

指相	₹の推荐	多・評価															
活動	助指標 ·	1 (「手段」をもと	に設定)	指標名:英語検			指標の求め方:										
成县	<b>具指標</b> :	1 (「成果」をもと	に設定)	指標名:英語検	定合格率		指標の求め方:お	合格者数/受検者数	<b>X</b>								
						3 カ年計画				3 力年計画				3次実施4力年記		T	第 7 期
				第1年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次(6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	Т	活動指標 1	計画値	365		1 112		300	300	300		276	276		276	- "	
	指	(単位/人)	実績値	114	88	89		105									
	標	成果指標 1 (単位/%)	計画値	50. 0 75. 4		50. 0 65. 2		50. 0 72. 4	50. 0	50.0		55. 0	55. 0	55. 0	55. 0		
		事業の達成度	実績値	75. 4	70.9	65. 2	あまり達成されていない	72.4									
		(活動指標をも 事業の成果 (成果指標をも					上がっている										
		事業の効率性(事業費に対す					少し上がっている										
		総合評価					良好である										
事務事業評価	評価内容	理由す	平価の判断 そたは指標 責値に関す	用り幅の知いのく考合にと画え率し、滅のをつ動必え格も考値でした。という後か検みあま受てが幅。ていた予と、しつ向要をが。はつる大るいたうとはならなもりをおいるなかくない。はいるなどのは、それのでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、	は生のり回励今しつ向要る率よえはがの大る、、徒1前っに後っ受をが。はっる昨っの幅会、後1前っに後っ受をが。はっる昨っの幅会、は、自然の年に関もが後の利度。し周り者てるた後で、年は計超格者約月を受て知行数いと、級るこりい画点率が4と下検はをいのく考合にとち下る値でに対している。	りほな励今しつ向要る率よえはがの大る 前ぼっに後っ受をが。はつる昨っの幅。 年度は、見関り者でるた検く、よは計超格 とい受て知行数いと、級るこりい画え率 といりではいるでいる値でいた。 は、ではいのく考合にとち下る値でに といりでは、からでは、まは計超格 といりでは、からでは、まないの、大るでは、ないの、大るでは、 で、というでは、からでは、ないの、大るでは、ないの、大るでは、ないの、大名をいの、大名をいの、大名をいの、大名をいの、大名をいる。	始とこと金はな受取有意な業こあめいの2中にと金はな受取有意な業このは利25つ検っ用欲でするとすでは中%いるはつ促いてえら判してものできたら判しているはの性がととるといるは、強いのはいるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるとい	り回励今にり者てるたいり回励今にり者であります。し学をつ動必え春度。し学をつ動必え春でしているのいまる体ではつつ声の表を率なる本では、まか検みあまで、	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向性					現状のまま継続										
	改善	性の判断理由 、改革の内容 、R8、R10)		ン能力の向上なる を奨励し、英語し から、「現状のこ 但し、更なる受材	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	、検定料を補助す 習意欲向上を図る した。 、中学校と協力し	ることで、受検 の一助となること	R8 :				R10 :					

#### [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 過疎計画掲載

事 業 名	社会科副読本	編成事業			事業期間	平成	26年度 ~	_	年度						<del></del>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-2-1	他に関連する基本事業	る						所管課係	学務課学校教育係
目的 (何のために実施する のか)	小学校3,4年生の7 て理解するための	社会において、身 )学習で使用する。	∤近な地域や市区町 。	村の地理的環境	や、産業、歴史等	こついて、生活	舌との関連を踏	(	手段 どのような方法で <sup>長現するのか)</sup>	4年ごとに社会科 社会科授業で使用					注する。翌年度から小学校中学年
対象 (誰・何を対象として いるのか)	小学校3,4年生児	童						(	<b>戊果</b> どのような効果が 得られるのか)	副読本を使用したる。	た授業を行うこと	で、教科書に無い	郷土の地理や歴	史等を学び、砂川に	こついて理解を深めることができ
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	4年サイクルで見	直しを図り、授業	で使用されてき	ていた。										

【DO】 実績

(単位・円)

実績																	(単位:円)
					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年計	十画		第 7 期
				第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次(6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	围	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
		Ī	実 績 額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	地 方	債					0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	その	他					0				0					0	0
投		_	予算計上額				0				0					0	0
入			実績額				0				0					0	0
	一般財	源			920, 000		920, 000				0	1, 615, 000				1, 615, 000	2, 535, 000
₹		-	予算計上額		0	1, 615, 000					0					0	1, 615, 000
			実績額		202 202	1, 615, 000	, ,				0	4 045 000				0	1, 615, 000
れ	事業費	計		0	920, 000	0	920, 000	0	0	0	0	1, 615, 000	0	0	0	1, 615, 000	2, 535, 000
た		-	予算計上額	0	0	1, 615, 000 1, 615, 000	1, 615, 000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1, 615, 000
,-			実績額	0	4年ごとに社会科	, ,	1, 615, 000	0	0	0	0	0	0	0	U	0	1, 615, 000
事業費の推移	事業費予 内容				副読本改訂委員会												
	前年度予 の比較 (増減理 実績との	支 由)				-											
	(増減理	由)				-											

活動	指標 1	(「手段」をもとに設定)	指標名:配付児	童数		指標の求め方:酢	2付数/対象児童数	<b></b>								
成果	指標 1	(「成果」をもとに設定)	指標名:授業用と	して必携のため成果	指標は求めない。	指標の求め方:										
				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	も3カ年計画			第	3次実施4カ年記	計画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
	1	活動指標 1 計画値	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	指	活動指標 1 計画値 (単位/人) 実績値		200	188				190	<u> </u>			<del> </del>	100		
		成果指標 1 計画値			100											
		(単位/ ) 実績値														
		事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				達成されている										
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				変わらない										
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				上がっている										
		総合評価				極めて良好である										
事務事業評価	評価内容	総合評価の判断理由または指標の実値に関する自己分析	自己分析:	自己分析:	年対要元の暮ぶの読事こるあ 年生し、に歴史、な、の使実な、、 4年学沿史、な、の使実な、、 が終去さしめ業ををにめ。 でである。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 であ	対し、学習指導 要領に沿ってまり 元の歴史、人々の 存らしなどを学	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向性				現状のまま継続										
	改善、		まちの様子、人 読本を使用する! ま継続」とした。 今後の検討課題	4 4年生に対した、学を 々の存を実施しています。 は、改訂委を実施しています。 とことが考えられる	学ぶため、社会科 とになっているた 員会の中で副読本	の授業の中で副 め、「現状のま	R8 :				R10 :					

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	児童生徒指導	• 教育相談事	業		事業期間	平成2	29年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-2-2	他に関連する 基本事業						所管課係	学務課学校教育係
(何のために実施する	近年、児童生徒を 庭環境が大きく影 これら家庭の問題	/響しているケー	スが多く、学校だ	ており、いじめ <sup>、</sup> けでは対応が難	- や不登校、暴力行為 しく解決が困難な∜	るといった問題行 代況から、関係機	「動等の背景には家 関と連携を図り、	手段 (どのような方法で 実現するのか)	教育と福祉の両面進める体制を恒常		知識・技術や経験	を有するスクール	レソーシャルワー	カーの配置により、連携と対応を
対象 (誰・何を対象として いるのか)	いじめや不登校、	暴力行為といっ	た問題行動等のあ	る児童生徒及び	呆護者。			成果 (どのような効果が 得られるのか)	学校だけでは解決 とで、いじめや7	央が難しい家庭の 下登校、暴力行為	問題等に対応し、 といった問題行動	児童生徒が置かれ 事の未然防止と与	ıた様々な環境の「 ⊒期解決を図る。	問題解決に向けた取組を進めるこ
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	上記を目的に、教	教育と福祉の両面(	こ関して専門的知	口識・技術や経験を	有する者を恒常に	ーーー 的に協力が得られ	る体制を構築するカ		1日付でスクール	ソーシャルワーカ			

# [DO]

実績

						第1次実施	3 カ年計画			第2次実施3	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	費	計画	額				0				0					0	0
			予算計.	上額				0				0					0	0
			実 績	額				0				0					0	0
	道	費	計画	額	435, 000	435, 000	435, 000	1, 305, 000	435, 000	435, 000	435, 000	1, 305, 000	435, 000	435, 000	435, 000	435, 000	1, 740, 000	4, 350, 000
			予算計.	上額	435, 000	435, 000	435, 000	1, 305, 000	435, 000	435, 000		870, 000					0	2, 175, 000
			実 績	額	435, 624	435, 527	145, 162	1, 016, 313	439, 444			439, 444					0	1, 455, 757
	地	方 債	計画	額				0				0					0	0
			予算計.	上額				0				0					0	0
<b>.</b>			実 績	額				0				0					0	0
投	そ	の他	計画	額				0				0					0	0
入			予算計.	上額				0				0					0	0
			実 績	額				0				0					0	0
2	— 船	设 財 源	計画	額	1, 968, 000	1, 968, 000	1, 968, 000	5, 904, 000	2, 401, 000	2, 401, 000	2, 401, 000	7, 203, 000	2, 401, 000	2, 401, 000	2, 401, 000	2, 401, 000	9, 604, 000	22, 711, 000
h			予算計.	上額	1, 968, 000	1, 908, 000	1, 965, 000	5, 841, 000	2, 415, 000	2, 645, 000		5, 060, 000					0	10, 901, 000
10			実 績	額	1, 770, 484	1, 769, 101	1, 990, 087	5, 529, 672	2, 458, 935			2, 458, 935					0	7, 988, 607
<i>t</i> =	事業	費合計	計画	額	2, 403, 000	2, 403, 000	2, 403, 000	7, 209, 000	2, 836, 000	2, 836, 000	2, 836, 000	8, 508, 000	2, 836, 000	2, 836, 000	2, 836, 000	2, 836, 000	11, 344, 000	27, 061, 000
-			予算計.	上額	2, 403, 000	2, 343, 000	2, 400, 000	7, 146, 000	2, 850, 000	3, 080, 000	0	5, 930, 000	0	0	0	0	0	13, 076, 000
事			実 績	額	2, 206, 108	2, 204, 628	2, 135, 249	6, 545, 985	2, 898, 379	0	0	2, 898, 379	0	0	0	0	0	9, 444, 364
業							報酬 1,933千円		報酬 2,014千円									
					期末手当 405十 四	期末手当 358千 四	期末手当 38/十 四		勤勉手当 344千円 期末手当 412千円									
費							費用弁償 14千円		費用弁償 14千円									
o o		費予算の		1	会計年度任用職	会計年度任用職	会計年度任用職 員費用弁償 51千		会計年度任用職員	円 ボロクザ 44-5								
0,	· '	内容			貝貝用弁良 の下	貝貝用弁関 51十	貝貝用弁頂 31十		費用弁償 51千円 消耗品費 15千円									
推					消耗品費 15千円	消耗品費 15千円	消耗品費 15千円			] 消耗品費 15千								
TA										円								
移					期末手当増のた	期末手当減及び	報酬単価及び期		報酬単価及び期末	報酬単価及び期								
		度予算と			め増	研修回数減のた			手当の増、勤勉手	末手当、勤勉手								
		)比較 咸理由)				め減			当の計上による増	当の増								
	, ,,,,				7 M P 1 M P 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	7 M D 1 M L !!	7 Mr = 1 Mr   11		+0 = 11 24 / 17 72 4 5 4 5 4 5									
						予算見込額と比 べた報酬の減、	予算見込額と比 べた報酬の減、		報酬単価及び期末 手当、勤勉手当の									
	<b>⇔</b> 4±	L o List			それに伴った期	それに伴った期	それに伴った期		増									
		との比較 咸理由)	3		末手当の減及び	末手当の減及び	末手当の減及び											
	(-8/	,,, <u>,</u> ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			研修未実施のた め減	研修未実施のた め減	研修未実施のた め減											
					<b>以ノ//以</b>	<b>以 / //以</b>	<b>以 / //以</b>											
						•	•			•								

活動	指標 1	(「手段」をもと	に設定)	指標名:スクール	レソーシャルワー	カー配置数	指標の求め方: 2	スクールソーシャル	ワーカー配置数								
成果	上指標 1	(「成果」をもと	に設定)	指標名:問題行動	動等のある児童生	<b>徒数</b>	指標の求め方:問	問題行動等のある児	童生徒数								
					第 1 次実施	3カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年記	計画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
	1	T #1 #1 #1	計画値	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	
	指	活動指標 1 (単位/人)	実績値	<u>'</u>	<u>'</u>	<u>'</u> 1		<u>-</u> <u>-</u>	<b></b>				<u>-</u>	<b></b>	<u>-</u>		
	標	成果指標 1	計画値	13	12	11		10	9	8		7	6	5	5 4		
		(単位/人)	実績値	17	12	15		11									
		事業の達成度 (活動指標をも	とに評価)				ほぼ達成されている										
		事業の成果 (成果指標をも	とに評価)				少し上がっている										
		事業の効率性 (事業費に対す	る成果)				少し上がっている										
		総合評価					良好である										
事務事業評価	評価内容	理由ま	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	のいこ題と判状中を他関ういいこ題と判状中を他関ういるが高いないのがありいる音かいのがなっている音がないれていいる音がないれどいいのがでの期がである音がないない。	のいこ題と判状中を他のいこ題と判状中を他のいるりない。と解な断況長要のが決っでの期す教育をでへてき改善が決ってのののる音をいるでは、している。というには、大きながに時め談には、は間、機	のいこ題と判状中を他関ラな と いた と 解な 所 い に え 、 影 と 解 な 所 の 所 の 所 の 射 っ め わ っ ら っ の め わ ら る 育 ウ の 分 わ っ の め わ っ の め わ っ の め わ っ の め わ っ り め っ り る う ら ら ら ら 。 り る し 。 し る し 。 し 。 し 。 し 。 し 。 し 。 し 。 し	数和令減概の数なれ間じどなれば、一要徒きぞる応な一要徒きぞる応な一切に度なる。必生でれえに援りていて関系はが、個題だをおいるを対している。必生でれえに援りません。必生でれるに接りである。	自不メ響でのるがはをのカ効をる ・徒にる題なでのもがは来るのと、 ・技にる題なでの的た談う役と、 ・技にる題なでの的た談う役必 をき支と、中要教り果進。 がはいた深での語のに対している。 がいたいでの語している。 がいいでいるがはをのカ効をる。	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向性		DC			現状のまま継続	DO				D10					
	改善,	性の判断理由 、改革の内容 、R8、R10)		れぞれに応じたがクールソーシャルと判断し、スクールとのし、スクールとのは社士、精神は連盟が認定するも	章生徒が抱える問 対応支援、 レワーカーの役割 ノー健・ リー・ リー・ リー・ は 関係で は り り り り り り り り り り り り り り り り り り	セラーなどに繋げ は重要であること ーは臨床心理士や 、日本ソーシャル ている者となるが	る役割を担うス から継続は必要 公認心理士、社 ワーク教育学校 、実質ほぼいな	R8 :				R10 :					

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 O

事 業 名	適応指導教室	設置事業			事業期間	令和	4年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	新規(予算)	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-2-2	他に関連する 基本事業						所管課係	学務課学校教育係
目的 (何のために実施するのか)			の他の理由により に適応するための		- への登校が困難とな	こっている児童	生徒に対し、家庭	手段 (どのような方法で 実現するのか)		交の校長へ通室の	申請を行う。校長			員1人を配置する。通室を希望す 会に通室を依頼し、教育委員会が
対象 (誰・何を対象としているのか)	不登校の状態が終	<b>継続又は断続し、</b>	学校に登校できな	い児童生徒。				成果 (どのような効果が 得られるのか)	近年、市内小中等 生徒には家以外の る。	学校でも不登校の の居場所を提供す	児童生徒は増加傾 ることから始め、	向にあることから 学校生活に向けた	。、適応指導教室 ∈指導をすること	を開設し、ひきこもり状態の児童 で、不登校状態の解消が図られ
事業開始時の状況 緯	・これまでの経				リ、市内小中学校へ 弱所の見直し等を行							導を行うことを目	目的に令和4年度か	ら開設も検討していたが、令和8年

# [DO]

実績

				第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	-画		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	第 7 期 総合計画 合 計
	国 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	道費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	地 方 債					0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
-		実績額				0				0					0	0
入	その他	計画額				0				0					0	0
ŧ		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
れ	一般財源			1, 965, 000	1, 965, 000	3, 930, 000			2, 594, 000	2, 594, 000	2, 594, 000	2, 594, 000	2, 594, 000	2, 594, 000	10, 376, 000	16, 900, 000
<i>t</i> =		予算計上額		0	0	0				0					0	0
12		実績額		0		0				0					0	0
事	事業費合計		0	1, 965, 000	1, 965, 000	3, 930, 000	0	0	2, 594, 000	2, 594, 000	2, 594, 000	2, 594, 000	2, 594, 000	2, 594, 000	10, 376, 000	16, 900, 000
		予算計上額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業		実績額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
費																
	事業費予算の															
の	内容															
推																
移	v - + = + ·															
	前年度予算と の比較															
	(増減理由)															
	実績との比較															
	(増減理由)															

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:適応指導教室設置数	指標の求め方:適	応指導教室が設置された個所数					
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:通室率	指標の求め方:通	室した児童生徒/不登校児童生徒					
	第1次実施3カ年計画		第2次実施3	3 力年計画		第3次実施4カ年記	計画	第 7 期

					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年記	計画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年合計	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年 合 計	総合計画
	<u> </u>	活動指標 1	計画値	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	н п
	指	(単位/箇所			0	0		0	<u>'</u> .	<u>'</u>		<b></b>		<del> </del>	<u>-</u>		
	標	成果指標 1	計画値		50	50		50	50	50		50	50	50	50		
		(単位/%)	実績値		0	0		0									
		事業の達成原 (活動指標を	t もとに評価)				あまり達成されていない										
			もとに評価)				変わらない										
		事業の効率 (事業費に対					変わらない										
		総合評価					普通である										
事務事業評価	評価内容	理由の実	合評価の判断標 まを値に関 目己分析	自己分析:	適開いた 調教 高設 に を が は を が に を の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の に に 関 の に に に に に に に に に に に に に	開設を検討して8 年度開教育学院 年度教運用のの 機力では では では では では では では では では では では では では で	判令適開い年義併設しですこでた野和応設た度務せ置等、るとある事に事論を対策が、るとある。 おいまい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい い	適開い年義併設しです ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向性	<b>#</b>				現状のまま継続										
	方向忧	生の判断理由 改革の内容 R8、R10)		度開校予定の義和	-   -   -   -   -   -   -   -   -   -	運用方法や設置場	<b>■</b> ハたが、令和8年 所の見直し等を	R8 :				R10 :					

#### [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

(単付:円)

事 業 名	小学校宿泊学	習支援事業			事業期間	_	年度 ~ —	年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-2-2	他に関連する 基本事業		-				所管課係	学務課学校教育係
目的 (何のために実施する のか)	小学校の宿泊学習 境を利用した体質	習にネイパル砂川 倹学習を経験させ	を利用することに る。	より、宿泊を通	・ した集団生活の規律	書を学ばせるだ	けでなく、自然環	手段 (どのような方法で 実現するのか)	ネイパル砂川を決を市教委で借上!	活用し、宿泊を伴 げる。	う校外研修を計画	iする市内小学校に	こ対して宿泊費を	補助する。また移動に必要なバス
対象 (誰・何を対象として いるのか)	全小学校児童(小	学校5年生)						成果 (どのような効果が 得られるのか)	宿泊費を助成する み、集団生活の	ることにより、児 在り方や公衆道徳	童が平素と違う生 などについて望ま	E活環境により自然 Eしい体験を積むこ	然に親しみ見聞を ことができる。	広めつつ、自然や文化などに親し
事業開始時の状況 緯	何を対象として 全小学校児童(小学校5年生) 全小学校児童(小学校5年生)									オにした実践的な	学習の経験はもと	より、宿泊を通し	て集団生活の規	津を学んだり、自然環境を利用した

#### [DO]

実績

第1次実施3力年計画 第2次実施3カ年計画 第3次実施4力年計画 第 7 期 第4年次 第1年次 第2年次 第3年次 第5年次 第6年次 第7年次 第8年次 第9年次 第10年次 総合計画 実施3カ年 実施3カ年 実施4カ年 合 計 合 計 (6年度) 合 計 計 (3年度) (4年度) (5年度) (7年度) (8年度) (9年度) (10年度) (11年度) (12年度) 計画額 予算計上額 実 績 額 計画額 予算計上額 実 績 額 方 債 計画額 予算計上額 投 実 績 額 計画額 0 予算計上額 さ 実 績 額 一般財源 計画額 450,000 450, 000 450, 000 1, 350, 000 540,000 540,000 342,000 1, 422, 000 342, 000 342, 000 342, 000 342,000 1, 368, 00 4, 140, 000 540,000 予算計上額 450, 000 444, 000 444, 000 1, 338, 00 549, 000 1, 089, 000 2, 427, 000 実 績 額 360, 450 351, 840 349, 650 1. 061. 940 357, 430 357, 430 1, 419, 370 計画額 540, 000 4, 140, 000 事業費合計 450, 000 450, 000 450, 000 1, 350, 00 540, 000 342, 00 1, 422, 000 342, 000 342, 00 342, 00 342, 000 1, 368, 00 予算計上額 450, 000 444, 000 444, 000 1, 338, 000 540,000 549, 000 1, 089, 000 2, 427, 000 357, 430 実 績 額 360, 450 351, 840 1, 061, 940 357, 430 1, 419, 370 交付金 43千円 | 交付金 37千円 | 交付金 59千円 | 車借上料 407千 | 車借上料 407千 | 車借上料 385千 交付金 45千円 交付金 54千円 車借上料 495千 車借上料 495千 費 lei. 事業費予算の の 内容 推 車借上料の値上 げのため増 参加対象児童数 増減なし の減少のため減 車借上料の値上 児童数の増 げのため増 前年度予算と の比較 (増減理由) 車借上料の減の 車借上料の減の 車借上料の減の 車借上料の減の ため ため ため ため 実績との比較 (増減理由)

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名:交付金額	指標の求め方:事業実施に対する交付金交付額
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:宿泊学習参加率	指標の求め方:宿泊学習に参加した児童数/宿泊学習参加対象児童数

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施 4 カ年	総合計画合計
	1		計画値	(3年度) 450	(4年度) 450	(5年度)	合 計	(6年度) 450	(7年度) 450	(8年度) 450	合 計	(9年度)	(10年度) 285	(11年度)	(12年度)	合 計	
	指	活動指標 1 (単位/千円		450 361	450 352	450 350		358	450	450		285	280	285	285		
	標	成果指標 1	計画値	100	100	100		100	100	100		100	100	100	100		
		(単位/%)	実績値	100	100	100		100									
		事業の達成/ (活動指標を	度をとに評価)				ほぼ達成されている										
		事業の成果 (成果指標を	きもとに評価)				上がっている										
		事業の効率					上がっている										
		総合評価					極めて良好である										
事務事業評価	評価内容	理師の別		自然現場は、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでを来るして、大学のでを来るして、大学のでを来るして、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では	に集りぶでをでいる。は、というなでは、というなでは、というなでは、というできる。というできる。これでは、、はいいでは、、はいいでは、はいいでは、いいでは、いいでは、いいでは、い	に集りぶ徳をでいた。 知団方なをではいるでは、 といるででは、 といるでは、 はいるでを でいるで になって はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで はいるで	生活での有りが での有りが は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	に集りぶ徳え体が 親団方なをで験出 し生、ど習のを来 は、得望積と がのを衆るしこ考 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向	性				現状のまま継続										
	方向性 改善、 (R5、	生の判断理由 改革の内容 R8、R10)		R5:学では 信名ことである。 での対し、 の対に での対応となる。 の対応となる。	舌での規律の学ぶ )助成は「現状の 開校予定の義務教	など、児童にとっ まま継続」と判断 育学校へ統合後に	て重要な行事で した。 は、スクールバス	R8 :				R10 :					

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	小・中・高校	合同音楽会事	業		事業期間	昭和	33年度 ~	— 年度				•		
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-2-2	他に関連する 基本事業						所管課係	学務課学校教育係
	的 砂川市内の小学校、中学校及び高等学校児童生徒の音楽発表の場を通して情操を養い、芸術文化への理解 め、小・ロ・真校生のな弦を図る。							手段 (どのような方法で 実現するのか)	年1回地域交流セ	zンター「ゆう」に	に集い、合同音楽	発表会を実施する	•	
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内各小・中・高	<b>高校の児童生徒</b> 。							る音楽教育の成果		ことができる。不			保護者や一般市民に学校におけより、子ども達に自信と新たな向
事業開始時の状況緯					<sup>危、</sup> 住民の学校教育 R会館から発表の場			<sub>ン</sub> 、現在は一つの学	:校行事として定着	着している。				

# [DO]

実績

				第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	道 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地 方 債					0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
入	その他	計画額				0				0					0	0
<b>₹</b>		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
れ	一般財源		451, 000	451, 000	,	1, 353, 000	503, 000	,	503, 000	.,	503, 000	503, 000	503, 000	503, 000	2, 012, 000	4, 874, 000
た		予算計上額	451, 000	368, 000	368, 000	1, 187, 000	503, 000	516, 000		1, 019, 000					0	2, 206, 000
12		実績額	204, 160	240, 020	363, 550	807, 730	418, 550			418, 550					0	1, 226, 280
事	事業費合計		451, 000	451, 000	451, 000	1, 353, 000	503, 000	503, 000	503, 000	1, 509, 000	503, 000	503, 000	503, 000	503, 000	2, 012, 000	4, 874, 000
****		予算計上額	451, 000	368, 000	368, 000	1, 187, 000	503, 000	516, 000	0	1, 019, 000	0	0	0	0	0	2, 206, 000
業		実績額	204, 160	240, 020	363, 550	807, 730	418, 550	0	0	418, 550	0	0	0	0	0	1, 226, 280
費				104千円	104千円		120千円	トラック借上料 120千円								
の	事業費予算の 内容				バス借上料 264千円		バス借上料 383千円	バス借上料 396千円								
推	110			20.111	20.111											
移	前年度予算と の比較 (増減理由)		トラック借上料 の見積書減、バ ス借上料の見積 書増	前年度同額	前年度同額		の見積書増、バ ス借上料の見積	トラック借上料の見積書増、バス借上料の見積書増								
	実績との比較 (増減理由)		バス借上台数の減	バス借上台数・ 単価の減	バス借上台数の減		バス借上台数の減									

活動	指標	1 (「手	段」をもとに設定)	指標名:車借上金	金額		指標の求め方: 耳	車借上金額									
成果	指標 1	1 (「成	果」をもとに設定)	指標名:児童生行	走参加者数		指標の求め方:呼	欠奏楽などで活動	)している児童生徒	の参加に限定され	れるため、計画値	は設定せず実績の	みの管理とする。				
					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年記	+画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次 (6年度)	第5年次(7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		活動拍		451	451			402		402		204	204	204			
	指標		立/千円) 実績値	205	241			419 393		000		200	200	000	200		
	175	成果排(単位	指標 1 計画値 立/人) 実績値	393 249	393 263	<b>{</b>	8	393	L	393		393	393	393	393		
			D達成度 指標をもとに評価)				ほぼ達成されている										
		事業の	D成果 指標をもとに評価)				あまり上がってい ない										
		事業0	の効率性				少し上がっている										
		総合計	費に対する成果) 平価				良好である										
事務事業評価	評価内容		総合評価の判断 理由または指標 の実績値に関	ルと徒制と標がか演を間流術解と、観かり成さが出て徒らと、選がり成さが相て徒らとのと、近生図文深といて、近生図文深をが、一、では、一、では、一、では、一、では、一、では、一、では、一、では、一、で	ルと徒制と標がか演を間流をしている。 では、	ルと徒制と標がか演を間流術解えているとない。 スし及限に及達のを、近生短文をよび成が相て徒られた、じ生短でなが相て徒られめなが相て徒られめなが相てもいめる。 大きないで、近く短いで、の機会で、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	り、合同演奏、 相互鑑賞を通じ て学校間、生徒	ルと徒制と標か演を間流術解と、観り、観りでは、現りでは、近くないでは、から変が、世に図りで、のでいている。と、近にのでは、が、をでは、近くでは、近くでは、近くでは、近くでは、近くでは、近くでは、近くでは、近く		自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後0	の方向性	2.0			現状のまま継続										
	改善	性の判 、改革 、R8、I	断理由 の内容	術・文化への理解	鑑賞を通じて学校 解を深める機会と 前である令和7年度	なっていることが		R8 :				R10 :					

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総	合戦略掲載	×	過疎計画掲載	×	

事 業 名	書道美術作品	展事業			事業期間	_	年度 ~ —	年度					<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画の位置付け	3-2-2	他に関連する 基本事業				 	所管課係	学務課学校教育係
目的 (何のために実施するのか)	市内小中学校の別め、関心を高める	記童生徒及び幼稚  るとともに、学習:	園児の書道・絵画等 意欲の高揚を図る。	等による作品展:	- 示を通して、情操 <i>の</i>	)涵養と芸術文	化への理解を深	手段 (どのような方法で 実現するのか)					ることにより、広く市民や周辺市 実施し、作品展の運営に反映させ
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内各小中学校の	)児童生徒及び幼	稚園児。					成果 (どのような効果が 得られるのか)		児童生徒及び幼稚 解や関心を深める		児童生徒・園児の	の向上心を触発し、情操を養い、
事業開始時の状況 緯	・これよりの柱	平成19年の地域3	作意欲の向上等を図 を流センター開設り から市内保育園児の	来、公民館大会	E民の学校教育に対 陰議室から展示の場 ることとした。	する関心を高 <i>&amp;</i> を移し実施し <i>†</i>	かるために実施。 さことにより、より	多くの市民に開示	することが可能と	となった。			

# [DO]

実績

		第1次実施	13カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	†画		第 7 期
	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期 総合計画 合 計
	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
国 費 計画 名	預			0				0					0	0
予算計上	領			0				0					0	0
実績	領			0				0					0	0
道費計画	領			0				0					0	0
予算計上	領			0				0					0	0
実績	領			0				0					0	0
地 方 債 計 画 🤄	領			0				0					0	0
投予算計上	領			0				0					0	0
実績	領			0				0					0	0
入その他計画	領			0				0					0	0
予算計上	領			0				0					0	0
実績	領			0				0					0	0
れ 一般財源 計画	額			0				0					0	0
予算計上	領			0				0					0	0
た実績				0				0					0	0
事業費合計 計画	額	0 (	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予算計上	領	0 (	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実 績 に	額	0 (	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
費														
事業費予算の内容														
推														
移														
前年度予算と の比較														
(増減理由)														
(-8/22-2127														
rh/# L o ll ##														
実績との比較 (増減理由)														
(-B#X-ZH7)														
					1									

ŧ	旨標の	推移	・評価															
;	舌動指	標 1	(「手段」をもと	に設定)	指標名:展示作品	品数		指標の求め方:当	当該年度展示作品	数								
J.	<b></b>	標 1	(「成果」をもと	(に設定)	指標名:展示作品	品数前年度比較		指標の求め方:原	展示作品数/前年原	度展示作品数								
						第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年計	一		第 7 期
					第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
			活動指標 1	計画値	619	619	l		595	595	595		595	595	595	595		
		指標	(単位/点)	実績値 計画値	689 100	744 100	645 100		677 100	100	100		100	100	100	100		
		,	成果指標 1 (単位/%)	実績値	111.3	108.0	86. 7		104. 9	100	100		100	100	100	100		
			事業の達成度 (活動指標をも					達成されている										
			事業の成果 (成果指標をも	とに評価)				上がっている										
		7	事業の効率性	<sup>-</sup> る成果)				変わらない										
		-	総合評価					良好である										
	務	評価内容	理由での実施	平価の判断標本に関す ます値に関す こ分析	数り生に数もらのや理めい、住作数もらのや理めに見一ない。とは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	数り生に数もらのや理体のようで、ら発の高いた。 いっぱん かいん かいん かいん かいん かいん かいん かいん かいん かいん かい	伴滅の生に数もらのやい少、徒集少あ、向芸術と生に数もらのも、向芸術と主命のは、の芸術と主命のは、の芸術となる児上術のは、の芸術となる。 いっぱい かいかい はい 童堂るで ら発の はい 童堂るで ら発の	判市作めなて徒触へがるかでた 断内品発いおうとらあ。 垂見一寸会、向芸解らえ好と 理のを表機りのや理めき良る で生の数な童心文関であるな判 は集少っ生の化心いと業し	て児ーす会から発の高のを表機と徒触へがる内のを表機と徒触へがるのや理めらいを関いている。これの芸解のの場所がある。これの表徴に、は集少あ児上術・れている。というでは、これのを表機と徒触へがるのを表機と徒触へがる	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
			 今後の方向性					現状のまま継続										
	H	_	, ,,,,,,,,,		R5 :				R8 :				R10 :					
					童生徒らの向上心	作品を一堂に集め 心の触発や芸術文 れる良好な事業で	化への理解・関心	の向上に繋がっ										
	改	善、	Eの判断理由 改革の内容 R8、R10)		但し、現状保育所	所や幼稚園の子ど 教育学校へ統合後												

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	小学校体育授	業支援事業			事業期間	_	年度 ~ —	年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-2-3	他に関連する 基本事業						所管課係	学務課学校教育係
目的 (何のために実施するのか)	砂川小学校プールり、全児童が各点	レ場廃止やスキー 小学校の教育課程	場閉鎖に伴う代替 に基づいたプール	措置であると同じ 授業、スキー授	・ 時に、授業にかかる 業を円滑に受けるこ	る経済的負担を ことができるよ	·軽減することによ : うにする。	手段 (どのような方法で 実現するのか)				を児童の水泳学習及 と員が均一に授業を		一場で実施する小学校スキー学習 を保持する。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	砂川小学校・北美	光小学校・空知太	小学校の児童(水泳	k)全小学校児童	(スキー)			成果 (どのような効果が 得られるのか)	市内小学校の児 護者負担の軽減		程に示されている	水泳授業及びスキ	F一授業を均等に	受ける機会が与えられ、また、保
事業開始時の状況緯	・これまでの経	業を行っている。 【プール授業に	砂川市民スキー場だ。 。 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、				志内かもい岳スキー、他校の施設を利用			まで送迎するため。	バスを借上げし、	全児童に係るリフ	7ト代(学年で2[	回実施のうち1回分)を支給し、授

# [DO]

実績

			第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
		第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
		(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	十 画 額				0				0					0	0
	算計上額				0				0					0	0
	尾 績 額				0				0					0	0
	十 画 額				0				0					0	0
	5算計上額				0				0					0	0
	€ 績 額				0				0					0	0
	十 画 額				0				0					0	0
100	算計上額				0				0					0	0
	尾 績 額				0				0					0	0
	十 画 額				0				0					0	0
7	5算計上額				0				0					0	0
実	尾 績 額				0				0					0	0
100 000 000	十 画 額	4, 636, 000	4, 636, 000		13, 908, 000	6, 308, 000	6, 308, 000	6, 308, 000	18, 924, 000	6, 308, 000	6, 308, 000	6, 308, 000	6, 308, 000	25, 232, 000	58, 064, 000
1	5算計上額	4, 636, 000	5, 568, 000	5, 368, 000	15, 572, 000	6, 308, 000	4, 319, 000		10, 627, 000					0	26, 199, 000
	<b>利 額</b>	1, 941, 120	3, 475, 700	3, 724, 420	9, 141, 240	4, 213, 320			4, 213, 320					0	13, 354, 560
事業費合計計	十 画 額	4, 636, 000	4, 636, 000	4, 636, 000	13, 908, 000	6, 308, 000	6, 308, 000	6, 308, 000	18, 924, 000	6, 308, 000	6, 308, 000	6, 308, 000	6, 308, 000	25, 232, 000	58, 064, 000
	5算計上額	4, 636, 000	5, 568, 000	5, 368, 000	15, 572, 000	6, 308, 000	4, 319, 000	0	10, 627, 000	0	0	0	0	0	26, 199, 000
業実	<b>利 利 利 利 利 利 利 利 利 利 利 利 利 利 利 利 利 利 利</b> 利	1, 941, 120	3, 475, 700	3, 724, 420	9, 141, 240	4, 213, 320	0	0	4, 213, 320	0	0	0	0	0	13, 354, 560
費				バス借上料		バス借上料	バス借上料 3,344千円								
事業費予算の			4, 367千円 リフト	4,249千円 リフト			3, 344十円 リフト								
の一の内容				1,119千円			975千円								
144															
推	-	前年度同額	プールの廃止校	旧音粉減による		バフはLMの角	児童数減による								
移	'		プールの廃止校 増によるバス借				元里奴滅による バス台数の減								
前年度予算との比較				フト使用料の減											
(増減理由)															
	,	新型コロナウイ	新型コロナウイ	新型コロナウイ		児童数減による						+			
実績との比較		ルス感染症対策	ルス感染症対策	ルス感染症対策		バス台数の減									
美績との比較  (増減理由)		によるプール授 業中止による減	によるブール授業カルによる	によるブール授											
(1,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		未中止による減	未中止による減	未中止による減											
						l									

#### 指標の推移・評価

活動	指標 1	(「手段」	をもとに設定)	指標名:事業費			指標の求め方:	事業に係る経費									
成果	指標 1	(「成果」	をもとに設定)	指標名:	_		指標の求め方:ノ	小学校プールの廃	止やスキー場閉鎖	に伴う代替措置で	であり、活動、成	果の図れる事業で	はないため指標は	設定しない。			
					第1次実施	<b>3 カ年計画</b>			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年記	十画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		活動指標 (単位/刊	、	4, 636	·{			4, 176	4, 176	4, 176		1, 523	1, 523	1, 523	1, 523		
	指標	成果指標	人根框	1, 942	3, 476	3, 725		4, 214					_		_		
		(単位/	· haaaaaaaaaa			_						<b></b>					
		事業の達 (活動指標	成度 票をもとに評価)				ほぼ達成されている										
			票をもとに評価)				変わらない										
			対する成果)				上がっている										
		総合評価		自己分析:	自己分析:	自己分析:	極めて良好である 判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
事務事業評価	評価内容	3	総合評価の判断標 理由または掲す の実績値に関す る自己分析	りはされています。 リはさ、よりのというによりのという。 では、よりのという。 では、よりのという。 では、よりのという。 では、よりのという。 では、よりのという。 では、よりのという。 では、よりのという。 では、よりのという。 では、よりのという。 では、よりのという。 では、よりのという。 では、よりのという。 では、よりのという。 では、よりのという。 では、よりのという。 では、よりのという。 では、まりのと、まりのと、まりのと、まりのと、まりのと、まして、まりのと、まして、まりのと、まして、まりのと、まして、まりのと、まして、まして、まして、まして、まして、まして、まして、まして、まして、まして	り、プール授業 は中止を余く くされて事業 が、本事、市内小 により、童が均	本りの教れ業業がる。東、市では、大学に、大学に、大学に、大学に、大学に、大学に、大学に、大学に、大学に、大学に	童が教育課程に 示され及びれる ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	りの児童では、 の児童課程に、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では									
		今後の方	向性				現状のまま継続										
					童が教育課程に示 ス	されている水泳授		R8 :				R10 :					

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

									1					<u> </u>
事 業 名	児童生徒大会	:出場助成事業	Ę		事業期間	_	年度 ~ —	年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-2-3	他に関連する 基本事業						所管課係	学務課学校教育係
目的(何のために実施するのか)	児童生徒の体育及	及び文化事業への	派遣をとおして、	体力や技術の向。	上と郷土愛の高揚る	を図る。		手段 (どのような方法で 実現するのか)	基準を満たした名 助成する。	各大会ごとに全道	・全国大会に出場	号を果たした場合、	選手の旅費や宿泊	白費、大会が定めた参加費を全額
対象 (誰・何を対象として いるのか)	中学校体育連盟芸	主催の全道・全国 会に出場するもの	大会へ出場した生 で、教育委員会が	徒又は、文部科学 認めた大会に出り	学省、道教委が主作 場した児童生徒。	崔、共催する大	(五 (地區) 医飞性	成果 (どのような効果が 得られるのか)	全道・全国大会へれ、市民に対して	への出場を後押し て感動や喜びを与	する助成制度があ えることにも繋が	ることにより、リ ヾる。	<b>記童生徒の体力や</b> 持	支術の向上、郷土愛の高揚が図ら
事業開始時の状況 緯	・これまでの経													

# [DO]

実績

				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年計	-画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
<b>[</b>	国 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
ĭ	道 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
İ	也 方 債	計画額				0				0					0	0
+n.		予算計上額				0				0					0	0
投		実績額				0				0					0	0
入	その他	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
≥		実績額				0				0					0	0
1 n	- 般財源	計画額	990, 000	990, 000	990, 000	2, 970, 000	990, 000	990, 000	990, 000	2, 970, 000	990, 000	990, 000	990, 000	990, 000	3, 960, 000	9, 900, 000
40		予算計上額	990, 000	990, 000	990, 000	2, 970, 000	990, 000	990, 000		1, 980, 000					0	4, 950, 000
た		実績額	1, 076, 526	2, 373, 483	2, 615, 511	6, 065, 520	2, 065, 775			2, 065, 775					0	8, 131, 295
<b>#</b> =	事業費合計	計画額	990, 000	990, 000	990, 000	2, 970, 000	990, 000	990, 000	990, 000	2, 970, 000	990, 000	990, 000	990, 000	990, 000	3, 960, 000	9, 900, 000
<b>→</b>		予算計上額	990, 000	990, 000	990, 000	2, 970, 000	990, 000	990, 000	0	1, 980, 000	0	0	0	0	0	4, 950, 000
業		実績額	1, 076, 526		2, 615, 511	6, 065, 520	2, 065, 775	0	0	2, 065, 775	0	0	0	0	0	8, 131, 295
			大会出場補助金	大会出場補助金	大会出場補助金			大会出場補助金								
費	事業費予算の			対象校 小学校5校	対象校 小学校5校		対象校 小学校5校	対象校 小学校5校								
ا م	内容			中学校2校	中学校1校		中学校1校	中学校1校								
推 _			前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額	前年度同額								
移	前年度予算と の比較		削牛及问領	削干及问額	削牛及问領		削平及问領	削牛及问領								
139	(増減理由)															
<b> </b>			全道大会出場者	全道大会出場者が	全道大会出場者が		全道大会出場者									
			が名かったため	多かったこと及	多かったこと及び		が多かったこと									
				び、バドミントンにおいて男女が全	水泳・ハトミント ン・スキーの競技		及び水泳やバド ミントン、剣道									
	実績との比較 (増減理由)			国大会へ団体戦で	において全国大会		ラフトン、 列道 の競技において									
	(增減理田)			の出場となり、大 幅増となったこと	へ出場したことに よる。大幅増		全国大会へ出場									
				による			したことによる 大幅増									
							ハッ田・垣									

推	裸の推	移・評価	i														
活	動指標	1 (「手段	と」をもとに設定)	指標名:事業費			指標の求め方:引										
成	果指標	1 (「成果	!」をもとに設定)	指標名:			指標の求め方:年	₹度により出場に			を設定するのは困	難なため設定しな					
				# 4 F Va	1	3 力年計画	****	笠 4 左 70	1	3 力年計画	1	75 7 F Va		3次実施4力年記	1		第7期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次(6年度)	第5年次(7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次(9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		活動指	/	990	990	990		990	990	990		990	990	990			
	指標	成果指	/千円)     実績値       標 1     計画値	1, 077	2, 374	2, 616		2, 066		_			_	_	_		
		(単位		_	-	_			-								
			達成度 指標をもとに評価)				達成されている										
		事業の (成果指	成果 指標をもとに評価)				変わらない										
			効率性 豊に対する成果)				上がっている										
		総合評	価				極めて良好である										
tale solve inter	事務事業評価		総合評価の判 理由または指 関 の実績値に関 る自己分析	優秀なたり、会なが、人大た。	優秀な成績をお さめており、バ ドミントンは2 年連続個人、団	優秀な成績をお 会めては水泳・・バ 年度ントントント キーの3競技に	判児事業頃を得や出をはや情る的良る野童業のの発た全場補、技操うで好と財産業のの発た全場補、技操うで好とは、ている。 は、ている。 は、では、大阪神の海の海でり事断に、の大阪神の海の海でり事断が、大阪神の大阪神の海の海の海の海の海の海の海の海の海の海の海の海の海の海の海の海の海の東	優秀な成績をお さめておいい・ 年度ントン・・ 道の3競技にお いて全国大会へ	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の	方向性				現状のまま継続										
	改善	n性の判断 ・、改革の 5、R8、R1	)内容	揮し勝ち得た、まは、更なる体力が り、また、保護者	全道大会や全国大 や技能の向上、情 者の経済的負担軽	- の の大会で場に係る費う 会へ加養をながってしています。 源に図るううでは、 源にといるでは、 のまま継続」とし	用を補助する事 えで効果的であいることから必	R8 :				R10 :					

#### [PLAN]

事務事業の目的と成果

事務事業の目的と!	<b>灭果</b>										総合戦略掲載	×	過疎計曲掲載	×	
事 業 名	食育推進事業	<u> </u>			事業期間	平成2	22年度 ~ -	- 年度							_
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-2-3	他に関連する 基本事業			-		-	所管課係	学校給食セン	ンター管理係
目的 (何のために実施する のか)	近年、国民的課是 び態度を養うた&	夏として食生活の り、学校における	乱れが指摘されて 食育を推進する。	おり、児童又は	生徒が健全な食生活	舌を自ら営むこと	とができる知識及	手段 (どのような方法で 実現するのか)	各学校における う。	『食に関する指導の	の全体計画』に基	づき、食育推進 <i>0</i>	D中核的な役割を担	旦う栄養教諭が具体	本的指導を行
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内小中学校のリ	<b>己童生徒</b>						成果 (どのような効果が 得られるのか)	児童又は生徒が優	⊉全な食生活を自	ら営むことができ	る知識及び態度を	を養うことができる	<b>5</b> .	
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	平成21年4月1日。	より給食センター	栄養士が栄養教訓	<b>命として任用され、</b>	各学校において	「食に関する指導	の全体計画」を作	成し、栄養教諭を	- 中心に学校給食	を教材として活用	しながら、計画的	う、系統的な食育 <i>の</i>	推進に取り組んで	<b>ごいる</b> 。

# [DO]

実績

		第1次実施	<b>3 カ年計画</b>			第2次実施	63カ年計画			第	3次実施4力年計	一		第 7 期
	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
国 費 計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
道費計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
地 方 債 計 画 額				0				0					0	0
投予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
入その他計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実 績 額				0				0					0	0
れ 一般財源 計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
大 恨 银				0				0					0	0
事 事業費合計 計 画 額		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予算計上額 業 実績額		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業 実績額	(	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
費														
事業費予算の														
の内容														
推														
移前年度予算と														
の比較														
(増減理由)														
実績との比較 (増減理由)														
(増減理由)														

18	東ッン1  E・	多・評価															
活	動指標	1 (「手段」をもとに設	定)	指標名:食に関す	する指導実施校		指標の求め方:食	まに関する指導を	実施した小中学校	数							
成	果指標	1 (「成果」をもとに設	定)	指標名:食に関す	する指導授業		指標の求め方:食	まに関する指導授	業時数								
					第 1 次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年	計画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	. سلد	7	計画値実績値	7	7	7		6	6	1	1	1	1	1	1		
	指標		美類他 計画値	40.0	40.0	40. 0		40.0	40. 0	40. (		40. 0	40.0	40. (	0 40.0		
		79021010101	実績値	32.0		37. 0		34. 0	40.0	40. 0			40.0	40.1	40.0		
		事業の達成度					あまり達成されていない										
		(活動指標をもとに事業の成果	:評価)														
		(成果指標をもとに	(評価)				少し上がっている										
		事業の効率性 (事業費に対する成	丈果)				少し上がっている										
		総合評価					普通である										
事 光 事 弟 言 伯	評価内容	理由また	の判断標に関す	はのに新ルで間て食も間「食こ産理学が大学的と地際をいったりにいいている。 いり にいい は かい かい かい いい かい かい かい かい かい かい かい かい かい	に新型ス、時実とできる。 に新型ス、時実とのできる。 はいかいからない 間に食る はいがっかい 提びできる できる できる できる はいれた 一次 はいれた 一次 はいれた できる はいれた できる はいかい かいかい かいかい かいかい かいかい はいかい かいかい かいか	はのに食がや夕度校と活と「食こ産理やた時たとがかし全数。ン供き対象には関連した時にとがかした数。と供き対めに関すいまでに深いました時にとがかしく数。と供き対めにで深いました。 チャー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	点学を新ルに小ず指計か「食こに深きあたで校実型スよせ、導画つジ」と対めたる。 かけんけんけん かいかい とがめたるとかける いっぱい というがき はいい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい	に食昨だ給問かし養学学と学問し導同もン年校とがらるに動作とたとからでいいた教校へつも、いいのではいいのでは、いいでは、いい	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向性					現状のまま継続										
	改善	性の判断理由 、改革の内容 、R8、R10)		の必要性や考えた ス感染症対策に。 関連する教科等に	・ は、全教職員のことは は、全教職員のことは とのでは、 とのでは、 は、 とのでは、 は、 とのでは、 は、 とのでは、 は、 とのでも、 とのでは、 とのでも、 とのでも、 とのでも、 とのでも、 とのでも、 とのでも、 とのでも、 とのでも、 とのでも。 とのでも。 とのでも。 とのでも。 とのでも。 とのでも。 とのでも。 とのでも。 とのでも。 とのでも。 とのでも。 と。 とのでも。 とのも。 とのも。 とのも。 とのも。 とのも。 とのも。 とのも。 との	が重要である。新 導授業時数は減少 の協力体制を勘案	i型コロナウイル ◇したが、今後も ∛し、給食献立を	R8 :				R10 :					

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 〇

事 業 名	学校給食セン	/ター整備事業	ŧ		事業期間	令和3	3年度 ~	令和12年度	]					
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設	第7期総合計画 の位置付け	3-2-3	他に関連する 基本事業						所管課係	学校給食センター管理係
	学校給食センター いしい給食の提 改善に寄与する。	共を安定的に行う	の修繕・改修・更 とともに、施設及	新等を行うこと! び設備等の延命・	- により、衛生管理 <i>0</i> 化を図り、児童生徒	)より行き届い tの心身の健全	た安心・安全で な発達と食生活	の (どのような方法で	校給食センターは	は1日1食である	ため、耐用年数は	は前述の約2倍との	りこと。修繕での	手といわれている。しかし、当学 対応を基本とするが、優先順位を 対応することとする。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	学校給食センター	一(建設年;平成	10年)					成果 (どのような効果が 得られるのか)	施設及び設備の修 安定的に行うとと			ちり、衛生管理のる	より行き届いた安/	心・安全でおいしい給食の提供を
事業開始時の状況 緯	兄・これまでの経	給食センターはユ	平成10年の建設	から、施設及び討	设備の老朽化に伴い	随時修繕を行	ってきている。							

# [DO]

実績

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	地	方 債	計画額	110, 300, 000		1, 900, 000	112, 200, 000	9, 800, 000		2, 700, 000		3, 100, 000	8, 100, 000	3, 100, 000	800, 000	15, 100, 000	139, 800, 000
投			予算計上額	110, 300, 000			110, 300, 000	9, 800, 000	42, 200, 000		52, 000, 000					0	162, 300, 000
			実績額	106, 200, 000			106, 200, 000	9, 700, 000			9, 700, 000					0	115, 900, 000
入	そ	の他	計画額	5, 790, 000	21, 619, 000		27, 419, 000	4, 000	0, 101, 000	9, 000		31, 000	34, 000	34, 000	29, 000	128, 000	36, 324, 000
à			予算計上額	5, 790, 000	12, 344, 000		18, 742, 000	4, 000	23, 000		27, 000					0	18, 769, 000
			実 績 額	10, 795, 204	12, 030, 436		23, 368, 853	33, 372			33, 372					0	23, 402, 225
れ	一 般	段 財 源	計画額	10, 333, 000	38, 568, 000	19, 000	48, 920, 000	8, 000	15, 636, 000	17, 000	10, 111, 111	55, 000	61, 000	60, 000	53, 000	229, 000	64, 810, 000
+-			予算計上額	10, 333, 000	22, 050, 000	1, 053, 000	33, 436, 000	8, 000	39, 000		47, 000					0	33, 483, 000
た			実 績 額	6, 050, 796	21, 489, 864		28, 482, 447	56, 628			56, 628					0	28, 539, 075
事	事業	費合計	計画額	126, 423, 000	60, 187, 000	1, 929, 000	188, 539, 000		24, 400, 000	2, 726, 000	36, 938, 000	3, 186, 000	8, 195, 000	3, 194, 000	882, 000	15, 457, 000	240, 934, 000
			予算計上額	126, 423, 000	34, 394, 000	1, 661, 000	162, 478, 000	9, 812, 000	42, 262, 000	0	52, 074, 000	0	0	0	0	0	214, 552, 000
業			実 績 額	123, 046, 000	33, 520, 300	1, 485, 000	158, 051, 300	9, 790, 000	0	0	9, 790, 000	0	0	0	0	0	167, 841, 300
費の推		費予算の 内容		空調設備改修工事、蒸気管改修 工事、蒸気式攪 拌装置付大型釜	工事、調理室等 床改修工事、暖	受変電設備改修 工事		自動フライヤー  更新	屋上防水改修工 事								
移	の	度予算と )比較 減理由)		空調設備改修工 事が高額のため	工事費の減				屋上防水改修工 事が高額なため								
		との比較 減理由)		入札減	入札減	入札減		入札減									

1	旨標の	推移	・評価															
;	舌動指	標 1	(「手段」をもん	とに設定)	指標名:修繕件	数		指標の求め方:修	修繕件数の合計									
J	成果指	標 1	(「成果」をも	とに設定)	指標名:事故件	数		指標の求め方:加	記設・設備の破損	・故障による事故	件数							
							3 力年計画				3 力年計画				3次実施4力年記			第 7 期
					第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次(7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年合計	第7年次(9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
H	Т		 活動指標 1	計画値	(3年度)				(0年度)				(9年度)					
		指	(単位/件)	実績値	19	17	18		16	5								
1		標	成果指標 1 (単位/件)	計画値実績値	0		0		(	0	0		0	0	0	0		
1	┢		事業の達成度			0	0	達成されている										
1		-	(活動指標を	もとに評価)				達成されている										
			事業の成果 (成果指標を=	もとに評価)				上がっている										
1			事業の効率性					上がっている										
		F	総合評価	9 句成本/				良好である										
			NO EI III III		自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
					事により、学校	工事により、建	修工事により、	計画通り改修が 進んでおり、空										
1					終 合衛 生 管 理 マ	物白体の長寿命	<b>経年坐化に上る</b>	調設備や調理室	経年劣化による 故障の危険が解									
1					管理基準で定め	化に繋がった。 調理室等床改修	故の危険が解消	り、衛生環境が	消され、安心安									
1					∥る、調理室内の	により、床材の	され、安全安心	改善したことか ら良好であると	全な給食の提供 が可能となっ									
1	事				び湿度80%以下	修され、衛生環	制が保たれた。	判断した。	t= .									
		評価			にすることがで きた。蒸気管改	た。暖房給湯系												
		内			慢性性器付大刑	統循環ポンプを 更新したことに												
1		容	総合	評価の判断	釜購入により、	より、お湯の漏洩等が発生しな												
1	事		理由の実	または指標 :績値に関す	経年劣化により 不具合のあった	洩等が発生しな くなり安定的な												
				己分析	箇所が改善し、 安全安心な給食	暖房運転が可能												
1	業				提供が可能と	2.2 7/28												
1					なった。													
1	評																	
1	価																	
1	1Ш																	
1																		
		Ī	 今後の方向性					現状のまま継続										
	F				R5 :	######################################	100 144	***	R8 :			ll	R10 :				II .	
1						化は進行している る。安全安心な給												
1					画通りに改修や	設備の更新が必要	であるため現状の	まま継続とし										
					/													
			Eの判断理由 改革の内容															
	G	(R5、	成年の内容 R8、R10)															
					l													
1																		

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	学校保健会活	動交付金事業	ŧ		事業期間	昭和	41年度 ~ -	- 年度					•	
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-2-4	他に関連する 基本事業						所管課係	学務課学校教育係
目的 (何のために実施する のか)	学校における環均 長を図る。	竟衛生の条件整備	に努め、関係団体	との連携を取り	・ ながら児童生徒を疾	病等から守り	、心身の健全な成	手段 (どのような方法で 実現するのか)	学校保健会の各種	重活動(会報発行、	研修会への参加	等)を支援するため	が活動交付金を支出	Ц.
対象 (誰・何を対象として いるのか)	砂川市学校保健会	<u></u>						成果 (どのような効果が 得られるのか)	市内全小中学校(	こおける、児童生	徒への保健指導に	関する共通認識を	を得ることができる	5.
事業開始時の状況 緯	・これまでの経													

# [DO]

実績

		第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	-画		第 7 期
	第1年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
国 費 計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
道 費計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
地 方 債 計 画 額				0				0					0	0
投予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
入その他計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実 績 額				0				0					0	0
れ 一般財源 計画額	41, 000	,		123, 000	41, 000	,	41, 000		41, 000	41, 000	41, 000	41, 000	164, 000	410, 000
予算計上額	41, 000	41, 000		123, 000	41, 000	,		82, 000					0	205, 000
ま 績 額	41, 000	41, 000	41, 000	123, 000	41, 000			41, 000					0	164, 000
事 事業費合計 計 画 額	41, 000	41,000	41, 000	123, 000	41, 000	41, 000	41, 000	123, 000	41, 000	41, 000	41, 000	41, 000	164, 000	410, 000
予算計上額	41, 000	41,000	41, 000	123, 000	41, 000	41, 000	0	82, 000	0	0	0	0	0	205, 000
業 実績額	41, 000	41, 000	41, 000	123, 000	41, 000	0	0	41, 000	0	0	0	0	0	164, 000
費	交付金 41千円	交付金 41千円	交付金 41千円		交付金 41千円	交付金 41千円								
事業費予算の														
の内容														
144														
推	前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額	前年度同額								
移 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	削牛及问領	削平及问額	削牛及问領		削平及问領	削干及问额								
前年度予算との比較														
(増減理由)														
	予算同額	予算同額	予算同額		予算同額									
実績との比較	1													
美額との比較  (増減理由)														
		<u> </u>			II.	1		II.						

指	標の推	移・評価															
活	動指標	1 (「手段」をもとに設定	1 指標	標名:交付金額	<b>須</b>		指標の求め方:記	構演会や会報発行	iの実施に対する交	Σ付金額							
成	果指標	1 (「成果」をもとに設定	指標	票名:活動実統	績数(会報発行、研	F修会の参加等)	指標の求め方:会	₹報発行や研修会	への参加など学校	交保健会としての流	舌動実績						
						10.3 力年計画	_			も3カ年計画	n			3次実施4カ年計		n	第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	指	1 H 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	画値 績値	41 41	.4			41 41		41		41	41	41	41		
	標	成果指標 1 計	画値	2	2	. 2		2	. 2	2 2		2	2	2	. 2		
			績値	1	1	2		4				<u> </u>					
		事業の達成度(活動指標をもとに評	平価)				達成されている										
		事業の成果 (成果指標をもとに評	平価)				あまり上がってい ない										
		事業の効率性 (事業費に対する成果	是)				少し上がっている										
		総合評価					良好である										
事彩事業語価価	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	総合評価の 理由または の実績値に る自己分析	新ル響はがし普ら 断標す	ス感染症の影によりない。 によりとない。 中止と報を発する。 大学でない。 ではない。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 できる。 では、 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	き新ルステンターをある。新型スに中へいいるというできない。これをいっている。これをいっている。これをは	校関係者、行中では、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	判学的おのめのが疾りなめ講児把ととる断校でけ条、連ら病、板の演童握なかと理保ある件関携児等心成の演童握なかと明携児等を置か身を発の徒図て良断の校衛に体り徒守健へ動態実機るでたの様常に体り徒守健へ動態実機るでたの情報が表達がある。	校別のでしる報校とのでしる報校のでしる報校のでしる報校のでしる報校のでしる報校ののでしる報校ののでしる報校路		自己分析:	判斷理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判斷理由:	
		今後の方向性					現状のまま継続										
	改善	性の判断理由 、改革の内容 ら、R8、R10)	関係 健全 把提	係団体との連携 全な成長を図る 握や協力体制 <i>0</i>	隽を取りながら児! るための啓発活動:	ける環境衛生の条が 童生徒を疾病等か や講演会のど、本 と名が となるなり がした。	、ら守り、心身の 児童生徒の実態	R8 :				R10 :					

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	教育推進協議	会交付金事業	ŧ		事業期間	平成	7年度 ~ —	- 年度					•	<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-2-4	他に関連する 基本事業						所管課係	学務課学校教育係
目的 (何のために実施する のか)	学校及び教職員の	)教育実践研究活	動を円滑に推進す	るために支援す	<b>3</b> .			手段 (どのような方法で 実現するのか)	研究を実施、また	た翌年度助成校に 内の研修、研究会	は準備助成金を交	付する。但し会和	04年度をもって廃	を1校指定し空知管内規模の公開 止)、学校研究(教職員の資質向上 している。)、教育実践方針委員会
対象 (誰・何を対象として いるのか)	小中学校教職員で	<b>ご構成する協議会</b>						成果 (どのような効果が 得られるのか)	教育実践研究活動 る。	動を通して、学校	職員の研修及び研	究を進めることに	こより、砂川市の割	<b>教育力の向上を図ることができ</b>
事業開始時の状況 緯	・これまでの経													

# [DO]

実績

				第1次実施	[3カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年計	- 画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	道費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地 方 債	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
投		実績額				0				0					0	0
	その他	計画額				0				0					0	0
入		予算計上額				0				0					0	0
≥ ×		実績額				0				0					0	0
	一般財源	計画額	1, 333, 000	1, 333, 000	1, 333, 000	3, 999, 000	541, 000	541, 000	541, 000	-, -=-,	541, 000	541, 000	541, 000	541, 000	2, 164, 000	7, 786, 000
れ		予算計上額	1, 333, 000	1, 078, 000	775, 000	3, 186, 000	541, 000	499, 000		1, 040, 000					0	4, 226, 000
+-		実績額	1, 133, 000	786, 621	722, 684	2, 642, 305	525, 878			525, 878					0	3, 168, 183
た	事業費合計		1, 333, 000	1, 333, 000	1, 333, 000	3, 999, 000	541, 000	541, 000	541, 000	1, 623, 000	541, 000	541, 000	541, 000	541, 000	2, 164, 000	7, 786, 000
事		予算計上額	1, 333, 000	1, 078, 000	775, 000	3, 186, 000		499, 000	0	1, 040, 000	0	0	0	0	0	4, 226, 000
		実績額	1, 133, 000	786, 621	722, 684	2, 642, 305	525, 878	0	0	525, 878	0	0	0	0	0	3, 168, 183
業費	事業費予算の 内容			交付金 1,078千円	交付金 775千円		交付金 541千円	交付金 499千円								
の推移	前年度予算と の比較 (増減理由)		よる減	よる減	公開研究会の廃 此及び、よるの廃 校のによるの減 中でで、 また、別減によ 分の削減によ る。		の廃止及び、児 童数削減分によ る減	児童数削減分に よる減								
	実績との比較 (増減理由)			新ルスリーと究れている。 対している。 はいる。 はいるは、 はいる	動での活動費で 執行残がでた事		各種サークル活動での活動費での活動費で 執行残がでた事 による									

活動		99 - <b>6T IIII</b> 1 (「手段」	をもとに設定)	:	指標名:交付金額	1		指標の求め方:孝	教育推進協議会交 <sup>,</sup>	付金額								
_			をもとに設定)		指標名:授業理解						設問「国語、算数	(数学) の授業の	内容はよく分かるか	」に対して「よく:	わかる」「どちらか	いといえばわかる」	と回答した児童生徒	も あまり もの割合
						第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計			第 7 期
				Ī	第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		活動指標			1, 333	1, 333	1, 333		1, 333	1, 333	1, 333		1, 333	1, 333	1, 333	1, 333		
	指標	(単位/刊			1, 133 75. 0	787 75. 0	723 75. 0		526 78. 0	78. 0	78. 0		80. 0	80. 0	80. 0	80. 0		
	IX.	成果指標(単位/%			73. 0 88. 6	78. 9	75. 0 86. 0		77. 2	76. 0	76. 0		80.0	80.0	80. 0	80. 0		
		事業の達 (活動指標	成度 票をもとに評	価)				ほぼ達成されている										
		事業の成 (成果指標	果票をもとに評	価)				少し上がっている										
		事業の効(事業費に	率性 に対する成果	<u>!</u> )				少し上がっている										
		総合評価						良好である										
事務事業評価	評価内容	3	総合評価の 理由または計 の実備に る自己分析	判指標	に よが 生 上 が 生 に い 図 に い 理 が 判 判 の で き で き さ き さ た き と に に い る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る	の数値は落ちて いるものの、目 標値は超えてい るところであ	により指導に工 夫が図られ、児 童生徒の理解力 向上に繋がって きていると判断	判本は指目でやがにどおる出生のを位がいた。 ・活体向校活の教積を好した ・活体向校活の教積を好した ・活体向校活の教積を好した ・関係を持ている。	の数 動値 もの 動る 同り 関徒 が で で で の の で に を い の で に を の の に に の の に に の の に に の に の に の に の に の に の に の に の に が が が が が が が が が が が が が	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方	向性					現状のまま継続										
	今後の方向性 方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)			1	校の教師が集まり 「現状のまま継続	)、教育研究を行 む」と判断した。 の義務教育学校へ	、本協議会を通し うことは必要であ の統合をもって、	ることから、	R8 :				R10 :					

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	学校運営協議	会(コミュニ	ティ・スクール	) 運営事業	事業期間	令和	2年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	新規(掲載)	建設・建設外		第7期総合計画 の位置付け	3-2-4	他に関連する 基本事業	3-2-8	3-3-4				所管課係	学務課学校教育係
(何のために実施する	学校と地域が目標の運営及び運営に や児童生徒の健全	こ必要な支援に関	して協議する機関	しながら子どもる を設置することに	- を育む「社会に開か こより、学校と地域	いれた教育課程 成が一体となっ	」を目指し、学校 て学校運営の改善	(どのような方法で	示す学校運営に係	系る基本的方針の	承認を行うほか、		を運営に対する意.	、合議制により、当該校の校長が 見及び教職員の任用に関する意見 する。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	学校の保護者、均	也域住民、教職員	等(学校運営協議:	会委員の対象とな	なる者)			成果 (どのような効果が 得られるのか)	学校と地域の連接 営について共に表	携・協働体制が構 考え行動していく	築され、学校・家 ことで、「地域に	R庭・地域が子育で 開かれた教育課程	この目標を共有しま 配」につながって「	ながら、長期的なスパンで学校運 いく。
事業開始時の状況 緯	・これまじの栓		の委員は各校10名以				度より全校で設置 交区内の住民の他、		「地域とともにま	ある学校づくり」	や「学校を核とし	た地域づくり」の	実現にむけながら	る、児童生徒の健全育成を図ること

# [DO]

実績

				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年計	一画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
国	費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
道	費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額		1, 094, 000	925, 000	2, 019, 000				0					0	2, 019, 000
		実 績 額		370, 000	0	370, 000				0					0	370, 000
地方	債	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
_		実 績 額				0				0					0	0
入その	他	計画額				0				0					0	0
t		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
れ 一般財	源	計画額	1, 399, 000	1, 399, 000		4, 197, 000				0					0	4, 197, 000
<i>t</i> =		予算計上額	1, 399, 000	565, 000		2, 478, 000				0					0	2, 478, 000
		実 績 額	564, 890	401, 140		1, 675, 470				0					0	1, 675, 470
事業費合	合計	計画額	1, 399, 000	1, 399, 000	1, 399, 000	4, 197, 000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4, 197, 000
		予算計上額	1, 399, 000	1, 659, 000	1, 439, 000	4, 497, 000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4, 497, 000
業		実績額	564, 890	771, 140	709, 440	2, 045, 470	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2, 045, 470
費			報酬 1,349千	報酬 1,643千	報酬 1,408千											
事業費予算	質の		円 費用弁償 50千	円 費用弁償 16千	户 費用弁償 31千											
の一内容			円	円	円											
+#-																
推			前年度同額	開催予定回数の	市学技体会に ト			予算に関しては		-						
移一一	mbr I			増による報酬の				社会教育課に移								
が 前年度予算 の比較				増	G 18601120-177			管したことに伴								
(増減理由								い皆減								
			運営協議会の開	運営協議会の開	運営協議会の開		予算に関しては								l	
実績との比	H 献		運営協議会の開 催回数及び委員 欠席による報	催回数及び委員	催回数及び委員		社会教育課に移									
(増減理由			欠席による報 酬・費用弁償の	火席による報 酬・費田弁偿の	火席による報 酬・费田弁偿の		管したことに伴 い皆減									
			調・复用弁頂の	調・复用弁頂の	調・复用弁頂の		U · ⊟ //火									
			l .				U			11	U	<u>I</u>		<u>I</u>	<u> </u>	

Ŧ	標の計	主砂 "	2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1															
污	動指標	₹1 (	「手段」をもと	に設定)	指標名:学校運営	営協議会開催回数		指標の求め方:	1校当たりの学校	運営協議会に係る	年間開催回数							
反	果指標	₹1 (	「成果」をもと	に設定)	指標名:地域住民	民の参画者延べ人	数	指標の求め方:	学校運営協議会会	議の延べ出席委員	数及び学校教育	活動地域住民等の	参画延べ人数					
						第 1 次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4力年	計画		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
			動指標 1	計画値	4	4	4		4	4	1	1	4	4		4 4		
	指標	5	(単位/回)	実績値	3. 3	3.7			3.7	070	07/			222	200			
	12	· DX	t果指標 1 (単位/人)	計画値実績値	280 355	280 783	<b></b>		270 483	270	270		260	260	260	260		
	$\vdash$	_	業の達成度	天視胆	333	783	000		400									
			活動指標をも	とに評価)				あまり達成されていない										
			≨業の成果 成果指標をも	とに評価)				上がっている										
			事業費に対す	で る成果)				変わらない										
		総	合評価					良好である										
	事務事業评価	5	理由ま	または指標 責値に関す 3分析	小置口んにをたがて会動た運域深か、電気では、複変も、営との、る置まで、複をももけわらい、は、 きつの、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、	コー面催活値い前会増共もらや大標回コー金と動にが年の元間、住幅値をお指届、に開、活え出民にを結構学にる標いそ比催地動た席参増大きな北ての送のこ委画えきとになるど目いで級数と回と員数でくさといる場所であり書開、標なも議もの数か数は目上っり書開、標なも議もの数か数は目上っります。	こ和でにくがにで席域数昨ともをて動れた。これでにくがにで席域数時ともをて動れるとのでいまって、これのでは、おおいて、とのは、おおいでは、からは、おおいでは、からは、おのでは、かられているができるが、かられているが、かられているが、かられているが、かられているがに、かられているがに、かられているのでは、ものでは、かられているのでは、のものでは、のは、のものでは、のはのでは、のものでは、のものでは、のものでは、のはのは、のはの	校至コ協際議る受令開えた住住に、りに会れを、は関する場合では変なけれてはなけれてはないでは、いた度も会るでは、いた度も会るといいでは、は、のは変がないが、のは変が、いたでは、のは変が、いたでは、のに会れを、は対している。	もり延一とも大い協設3ナでい催をと活携概と、昨下のきる議置を得るである場では、対していいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今	後の方向性					現状のまま継続										
					R5 :				R8 :			1	R10 :				1	II.
	改	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)			「学校を核とした	た地域づくり」が	地域とともにある 推進されることは であることから「	、児童生徒の健										

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	学校運営協議	会(コミュニ	ティ・スクール	) 推進事業	事業期間	令和	12年度 ~ -	— 年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	新規(掲載)	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-2-4	他に関連する 基本事業	3-2-8	3-3-4				所管課係	社会教育課社会教育係
(何のために実施する	の運営及び運営し	こ必要な支援に関 が参画することに	して協議する機関 より、「地域とと	として設置する	学校運営協議会で0	の協議や熟議の	』を目指し、学校)結果を踏まえ、幅 びくり」の実現につ					晶広い地域住民等か 対し交付金を交付		様々な調整 (コーディネート) を行 する。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	地域住民、学校设	重営協議会を設置	した学校の保護者	、教職員等				成果 (どのような効果が 得られるのか)	学校運営に幅広り	い地域住民等が参	画することにより	)、学校運営の改善	きと地域づくりにう	資する活動が活性化する。
事業開始時の状況 緯	い。これよりの社	動している。					3年度より全校へ記 会教育課社会教育(		もにある学校づく	くり」や「学校を	核とした地域づく	り」の実現に向け	ながら、児童生行	走の健全育成を図ることを目的に活

# [DO]

実績

						第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3 次実施4カ年計	.画		第 7 期
					第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国		費	計 画 額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
				実 績 額				0				0					0	0
	道		費	計画額		0	0	0	35, 000	35, 000	35, 000	105, 000	35, 000	35, 000	35, 000	35, 000	140, 000	245, 000
				予算計上額		39, 000	32, 000	71, 000	35, 000	40, 000		75, 000					0	146, 000
				実績額		15, 000	10, 000	25, 000	12, 000			12, 000					0	37, 000
	地	方	債	計画額				0				0					0	0
投				予算計上額				0				0					0	0
				実績額				0				0					0	0
入	そ	の	他	計画額				0				0					0	0
<b>₹</b>				予算計上額				0				0					0	0
٠				実績額				0				0					0	0
れ	— 船	段 財	源	計画額	1, 405, 000	1, 267, 000	1, 267, 000	3, 939, 000	3, 142, 000	3, 142, 000	3, 142, 000	9, 426, 000	3, 142, 000	3, 142, 000	3, 142, 000	3, 142, 000	12, 568, 000	25, 933, 000
_				予算計上額	1, 405, 000	1, 339, 000	1, 377, 000	4, 121, 000	3, 142, 000	3, 385, 000		6, 527, 000					0	10, 648, 000
<i>t</i> =				実績額	1, 145, 158	1, 282, 630	1, 265, 093	3, 692, 881	2, 354, 260			2, 354, 260					0	6, 047, 141
事	事 業	費合	計	計画額	1, 405, 000	1, 267, 000	1, 267, 000	3, 939, 000	3, 177, 000	3, 177, 000	3, 177, 000	9, 531, 000	3, 177, 000	3, 177, 000	3, 177, 000	3, 177, 000	12, 708, 000	26, 178, 000
-				予算計上額	1, 405, 000	1, 378, 000	1, 409, 000	4, 192, 000	3, 177, 000	3, 425, 000	0	6, 602, 000	0	0	0	0	0	10, 794, 000
業				実績額	1, 145, 158			3, 717, 881	2, 366, 260		0	2, 366, 260	0	0	0	0	0	6, 084, 141
費の推		費予算 内容	ĬΦ		報酬 838千円 費用弁償 51千円 車借上料 138千円 交付金 378千円	## FF 4 M6 00 T	爻付金 324十		円 事務補助員報酬・手 当 1,371千円 委員費用弁償 74千 円 交付金 324千円	手当 1,619千円 委員費用弁償 74 千円 交付金 324千円								
移	σ,	度予算 )比較 減理由			に導入されたこ とによる経費の 増	めによる車借上 料の減	期末手当計上による 報酬の増 通動手当計上無しに よる費用弁償の減 中学校閉校(1校) による交付金の減		上昇及び動勉手当計 上による増	事務補助員報酬 単価上昇による 増								
		との比 減理由				事務補助員勤務 実績による報酬 の減	事務補助員勤務 実績による報酬 の減		委員の会議欠席 及び事務補助員 勤務実績による 報酬の減									

781	来リノカ上で	多・評価															
活	動指標 1	【 (「手段」	をもとに設定)	指標名:学校運営	営協議会開催回数		指標の求め方:1	校当たりの学校選	■営協議会に係る	年間開催回数							
成	果指標 1	【 (「成果」	をもとに設定)	指標名:地域住民	民の参画者延べ人	数	指標の求め方: 学	<sup>2</sup> 校運営協議会議	の延べ出席委員数	【及び学校教育活動	動地域住民等の参	画延べ人数					
					第 1 次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年記	計画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指標		4	4	4		4	4	4	1	4	4	1	1 4		
	指標	(単位/回	人根框	3. 3	3.7			3. 7 280	200	000		000	000	000	200		
	175	成果指標 (単位/人		280 355	280 783	280 600		483	280	280		280	280	280	280		
		事業の達	人根框	333	763	000		400									
			をもとに評価)				ほぼ達成されている										
		事業の成: (成果指標	果 『をもとに評価)				上がっている										
		事業の効果	率性 ニ対する成果)				変わらない										
		総合評価	, © / > / > / >				良好である										
事	評価	***	総合評価の判断	ことにより地域 とにより地域 と一体となり は一体となが進 が進 いた。コーナウ の が が が が が が が が が が が が が る の の の の の	の学校運営協議 会にお策に留意し ながら協働活動 を行ったため、	標は計画値を達成した。 成果指標は会で各学校域学校協働がある。 「大学校院」である。 「大学校院 「大学校院」である。 「大学校院 「大学校院」である。 「大学校院 「大学校院 「大学校院」 「大学校院 「大学校院」 「大学校院 「大学校 「大学校 「大学校 「大学校 「大学校 「大学校 「大学校 「大学校	判新ル響標干成値りもくをづに 断型スには下黒を、にり核く向 理コ感と計の損失、ありとりけ 田口染り画っ標き地るやし」一 日のでははく域学でしたの定 はたはははは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	た。各学校 学校を は 大 た る 協 は 民 等 が 学校を の 地 校 を り で を り で り で り で り で り で り で り で り で	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
事業評価	i i	3 4	里由または指標の実績値に関す の実績値に関す の自己分析	響指下小運い策協は、学にのが実はたた校議会い動をできる。 できる かっぱん かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいま	は氏等が多画り ることにより地 域の声が活かされ、また、協働	学校運営に地域を とにが が活いな が活いな が活いな が活いな が活いな があると した があると した があると した があると した はな があると した はな があると した もず もず もず もず もず もず もず もず もず もず もず もず もず	<i>t</i> .。	学校が一体と なって取組む風 土が醸成されて									
		今後の方	向性	Dr.			現状のまま継続	Do				D10					
	改善	性の判断理 、改革の内 、R8、R10)	容	を核とした地域でを図るために重要る。 なお、令和8年月	画により「地域と がなり」が推進さ 要な仕組みである 要の学校統合を見 要な見直しを行っ	れることは、児童 ことから「現状の 据え、適切にコー	生徒の健全育成 まま継続」とす	<b>к</b> б :				R10 :					

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	特別支援学級	体験学習支援	事業			事業期間	_	年度 ~ -	- 年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設	設外		第7期総合計画 の位置付け	3-2-5	他に関連する 基本事業						所管課係	学務課学校教育係
(何のために実施する	集団生活に困難さ のない他校の特別 社会適応力の育成	支援学級の児童	教育ニーズに 生徒とともに	に応じた学 に見学や体	<sup>色</sup> 習が中心とな は験学習を実施	- よる特別支援学級の 通することで、日常	)児童生徒に対 さとは異なる生	して、普段は交流 活経験を増やし、	手段 (どのような方法で 実現するのか)	年1回、特別支持	髪学級の児童生徒	が一同に集まり、	他市町の社会施設	そへの視察や体験で	を行うために交付金を交付する。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	特別支援学級児童	<b>直生徒</b> 。							成果 (どのような効果が 得られるのか)	特別支援学級のリレス視察や体験を	見童生徒は普段、 を行うことは、児	1人ないし少人数( 童生徒の社会適応	の学級であり、市に 力の育成に繋がる	内の特別支援学級 。	の児童生徒が一同に集まり集団と
事業開始時の状況緯	・これまじの栓	実績として中近隊	姓市町村の旭	旦川市旭山	動物園や札幌	見学や体験を通し 市等の社会施設へ 交付金は、障害児	ている。								

# [DO]

実績

					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3 次実施4カ年計	·画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	地	方 債					0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
入	そ	の他	計画額				0				0					0	0
<b>≥</b>			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
れ	一 般	段 財 源	計画額	119, 000		,	357, 000	119, 000	,	119, 000		119, 000	119, 000	119, 000	119, 000	476, 000	1, 190, 000
+-			予算計上額	119, 000	119, 000	119, 000	357, 000	119, 000	,		238, 000					0	595, 000
た			実績額	0	0	119, 000	119, 000	85, 800			85, 800					0	204, 800
事	事 業	費合計	計画額	119, 000	119, 000	119, 000	357, 000	119, 000	119, 000	119, 000	357, 000	119, 000	119, 000	119, 000	119, 000	476, 000	1, 190, 000
			予算計上額	119, 000	119, 000	119, 000	357, 000	119, 000	119, 000	0	238, 000	0	0	0	0	0	595, 000
業			実績額	0	0	119, 000	119, 000	85, 800	0	0	85, 800	0	0	0	0	0	204, 800
費の		費予算の 内容		交付金 119千 円	交付金 119千 円	交付金 119千 円		交付金 119千 円	交付金 119千 円								
推移	前年原	変予算と		前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額	前年度同額								
		)比較 咸理由)															
	実績で	との比較 咸理由)		新型コロナウイ ルス感染症の影 響により中止		同額		行先変更による 減									

方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)

活動指標	1 (「手段	としてい として として として といっと といっと といっと といっと といっと といっと といっと といっ	指標名:交付金			指標の求め方:3										
成果指標	1 (「成界	!」をもとに設定)	指標名:体験学	習参加率		指標の求め方:位	本験学習参加児童	生徒数/特別支援	学級児童生徒在籍	者数						
				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年記	十画		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	活動指	/		9 119			119		119		119	119	119	119		
指標	成果指	7(190)		0 100	119		86 100		100		100	100	100	100		
	(単位	128			100		100									
	事業の (活動打	達成度 旨標をもとに評価	j)			達成されていない										
	事業の (成果)	成果 指標をもとに評価	j)			上がっていない										
	事業の (事業費	効率性 きに対する成果)				変わらない										
	総合評	価				問題がある										
事務事業評価		総合評価の判理の実績値に関る自己分析	ルス感染症の影と響かった。	自己分析: ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	る児童生徒が 年々増加傾向で	ルス感染症の影 の体験を の体験で が いた となった しまった たため。	る児童生徒が 年々増加傾向で	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
	今後の	方向性				現状のまま継続										
			くされたが、本 生徒とともに見 活経験を増やし	型コロナウイルス 事業は普段は交流 学や体験学習を実 、社会適応力の育 まま継続」と判断	のない他校の特別施することで、日 成に寄与する貴重	支援学級の児童  常とは異なる生	R8 :				R10 :					

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	特別支援教育	就学支援事業	ŧ		事業期間	_	年度 ~ —	年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-2-5	他に関連する 基本事業						所管課係	学務課学校教育係
	教育の機会均等の 機会均等に資する		別支援学級へ就学	する児童生徒の何	- 呆護者等、経済的負	負担を軽減する	ことにより教育の	手段 (どのような方法で 実現するのか)	特別支援学級設置	置校に申請書類を	送付し、提出され	た書類の審査の絹	吉果、基準を満た!	<b>した保護者へ扶助する。</b>
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内小中学校の特	特別支援学級に在	籍する児童生徒の何	呆護者及び通級	指導教室の通級児童	重の保護者。			特別支援学級へ就会均等に繋がる。		の保護者等の経済	的負担を軽減する	ることで、特別支持	<b>髪教育の普及が図られ、教育の機</b>
事業開始時の状況 緯	・これまでの経													

# [DO]

実績

					第 1 次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3 次実施4カ年計	画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	費	計画額	622, 000	622, 000	622, 000	1, 866, 000	512, 000	512, 000	512, 000	1, 536, 000	512, 000	512, 000	512, 000	512, 000	2, 048, 000	5, 450, 000
			予算計上額	622, 000	529, 000	476, 000	1, 627, 000	512, 000	548, 000		1, 060, 000					0	2, 687, 000
			実績額	420, 000	376, 000	342, 000	1, 138, 000	395, 000			395, 000					0	1, 533, 000
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	地	方 債	計画額				0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
入	そ	の他	計画額				0				0					0	0
<b>≥</b>			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
れ		般 財源	計画額	750, 000	750, 000	750, 000	2, 250, 000	652, 000	002, 000	652, 000	1, 956, 000	652, 000	652, 000	652, 000	652, 000	2, 608, 000	6, 814, 000
+-			予算計上額	750, 000	674, 000	772, 000	2, 196, 000	652, 000	642, 000		1, 294, 000					0	3, 490, 000
た			実績額	507, 629	459, 149	412, 867	1, 379, 645	509, 636			509, 636					0	1, 889, 281
事	事業	業費 合計	計画額	1, 372, 000	1, 372, 000	1, 372, 000	4, 116, 000		1, 164, 000	1, 164, 000	3, 492, 000	1, 164, 000	1, 164, 000	1, 164, 000	1, 164, 000	4, 656, 000	12, 264, 000
			予算計上額	1, 372, 000	1, 203, 000	1, 248, 000	3, 823, 000	1, 164, 000	1, 190, 000	0	2, 354, 000	0	0	0	0	0	6, 177, 000
業			実績額	927, 629	835, 149	754, 867	2, 517, 645	904, 636	0	0	904, 636	0	0	0	0	0	3, 422, 281
費		養予算の		特別支援学級就 学費扶助 対象者見込23人	学費扶助	学費扶助		特別支援学級就 学費扶助 対象者見込16人	学費扶助								
が推		内容															
移	(	■度予算と の比較 曽減理由)		見込人数増加に より予算増		修学旅行費等の 助成対象者の増 による予算増		見込人数減少により予算減	扶助費見込み額 減により予算減								
		きとの比較 曽減理由)		見込人数より減 となったため 3月補正△224千 円	となったため	となったため		見込人数より減 となったため 3月補正△195千 円									

指	際の推	侈・評価															
		1 (「手段」をもと			<b>爰教育就学費扶助</b>			<b>持別支援教育就学</b>				· - · · · · ·					
成	果指標	1 (「成果」をもと	に設定)	指標名:特別支持	援教育就学支援受 ************************************		指標の求め方:物	特別支援学級に在			ノ、受給対象者を	把握するのは困難					T
				第1年次	第1次実施第2年次	第3 年計画 第3 年次	実施3カ年	第4年次	第2次実施第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	3次実施4カ年記 第9年次	†迪 第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合計	合計
	+15	活動指標 1 (単位/千円)	計画値実績値	1, 372 928				1, 372 905	1, 372	1, 372		1, 372	1, 372	1, 372	1, 372		
	指標	成果指標 1	夫 科 計画値	920	1			900	_	_		_	_	_	_		
		(単位/人)	実績値	19	16	16		12									
		事業の達成度 (活動指標をも	とに評価)				ほぼ達成されている										
		事業の成果 (成果指標をも	とに評価)				上がっている										
		事業の効率性 (事業費に対す	る成果)				上がっている										
		総合評価	01%. * /				極めて良好である										
事務事業評価	評価内容	総合計	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ は に 関 す 分 析 、 分 析 、 う が が り ろ が り ろ が り ろ が あ り ろ が あ り ろ が り ろ が り ろ が り ろ が り ろ が り ろ り の り の り の り の り の り の り の り の り の	就徒の名がでするという。 学の名称では、 会様の名称では、 はいている。 は、 はいている。 は、 はいている。 は、 はいている。 は、 はいている。 は、 はいている。 はいている。 はいている。 はいている。 はいている。 はいている。 はいている。 はいている。 はいている。 はいている。 はいている。 はいている。 はいている。 はいでいる。 はいでいる。 はいでいる。 はいでいる。 はいでいる。 はいでいる。 はいでいる。 はいでいる。 はいでいる。 はいでいる。 はいでいる。 はいでいる。 といている。 とっと。 といている。 といている。 といている。 といている。 といている。 といている。 といている。 といている。 といてい。 といている。 といている。 といている。 といている。 といている。 といる。 といている。 といる。 とって。 とっと。 と。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。	就学する児童生 徒の保護者に対 する経済的負担 を軽減し、教育 の機会均等を図	就学する児童生 徒の保護者に対 する経済的負担 を軽減し、教育 の機会均等を図	判特就徒すを機っるい正いる・・学児者的、等をさられた。・・学児者の、多をさいます。・・学児者の、等でいさで、・・学児者の、等をさいたので、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	就学する児童に現る児童にはいる。現代の経済の保護済の経済の、ないでを機会ができる。とができる。	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向性					現状のまま継続										
				R5: 太事業の目的は	教育の機会物等	の趣旨に則り せ	別支援学級へお	R8 :				R10 :				и	
	改善	性の判断理由 、改革の内容 、R8、R10)		学する児童生徒の	の保護者等、経済	の趣旨に則り、村の負担を軽減する	ことにより教育										

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	特別支援教育	支援員配置事	業		事業期間	平成	21年度 ~ -	- 年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-2-5	他に関連する 基本事業						所管課係	学務課学校教育係
	児童生徒の学校5 対し支援を行う。	生活を支援するた	め、通常学級にお	いて授業を行う	・ 教師の指示のもと、	個別の支援が	必要な児童生徒に	手段 (どのような方法で 実現するのか)	通常学級においる	て個別の支援が必	要な児童生徒に対	<b>力し、授業を行う</b> 教	牧師の指示のもと <sup>・</sup>	で個別に支援を行う。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	通常学級において	て、個別の支援が	必要な児童生徒。						困り感のある児! の学力の向上等:		により、学力の向	]上や、授業中の地	きまわりや騒ぎ	立てを防ぐことができ、学級全体
事業開始時の状況 緯	・これまでの経		「法改正により「特 別支援員を配置し3		特別支援教育」へと	≿移行され、普	ř通学級においても:	発達障害を持つ児輩	<b>童生徒に対し、状</b>	況に応じたきめ級	<b>日やかな指導を実</b> 抗	奄していくことが?	求められることと	なり、H21年度から当市でも状況

# [DO]

実績

第1年次 (3年度) (3年度					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
日本					-11							-1		,			総合計画
大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学			計 面 宛	(3年度)	(4年度)	(5年度)	<u>п</u>	(0年度)	(/年度)	(8年度)	п п	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	п п	
東 銭 額         第 曲 額         0 <td< td=""><td></td><td>国 箕</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0</td><td></td><td></td><td></td><td>0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0</td><td>0</td></td<>		国 箕					0				0					0	0
接換   対							0				0					0	0
予算計上額         0 </td <td></td> <td>古 弗</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td>		古 弗					0				0					0	0
独 方 債 部 間 額		旦 其					0				0					0	0
地方 横 計画 顧							0				0		1			0	0
子葉計上額		地 方 信					0				0					0	0
支         表         の	+n.						0				0					0	0
大き         他 計画額         10         0	技						0				0					0	0
予算計上額   一般財 瀬 計画 額   12,927,000   12,927,000   12,927,000   12,927,000   12,927,000   15,546	入	その他					0				0					0	0
大き   大き   大き   大き   大き   大き   大き   大き							0				0		1			0	0
予算計上額   12,918,000   12,446,000   12,811,000   38,175,000   15,504,000   16,985,000   32,489,000   15,865,152   0   0   51.7     事業費合計 計 園 額   12,927,000   12,927,000   12,927,000   12,927,000   12,927,000   12,927,000   15,546,000	2		実績額				0				0					0	0
実績額         12,014,458         11,702,794         12,192,690         35,909,942         15,865,152         15,865,152         15,865,152         0         51,7           事業費合計         計画額         12,927,000         12,927,000         12,927,000         12,927,000         12,927,000         15,546,000	h	一般財源	計画額	12, 927, 000	12, 927, 000	12, 927, 000	38, 781, 000	15, 546, 000	15, 546, 000	15, 546, 000	46, 638, 000	15, 546, 000	15, 546, 000	15, 546, 000	15, 546, 000	62, 184, 000	147, 603, 000
事業費合計 額 12,917,000 12,927,000 12,927,000 12,927,000 12,927,000 15,546,000 1			予算計上額	12, 918, 000	12, 446, 000	12, 811, 000	38, 175, 000	15, 504, 000	16, 985, 000		32, 489, 000					0	70, 664, 000
事業     予算計上額     12,918,000     12,446,000     12,811,000     38,175,000     15,504,000     16,985,000     0 </td <td>た</td> <td></td> <td>実 績 額</td> <td>12, 014, 458</td> <td>11, 702, 794</td> <td>12, 192, 690</td> <td>35, 909, 942</td> <td>15, 865, 152</td> <td></td> <td></td> <td>15, 865, 152</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>51, 775, 094</td>	た		実 績 額	12, 014, 458	11, 702, 794	12, 192, 690	35, 909, 942	15, 865, 152			15, 865, 152					0	51, 775, 094
李算計上額     12,918,000     12,446,000     12,811,000     38,175,000     15,504,000     16,985,000     0 <td>事</td> <td>事業費合計</td> <td>計画額</td> <td>12, 927, 000</td> <td>12, 927, 000</td> <td>12, 927, 000</td> <td>38, 781, 000</td> <td>15, 546, 000</td> <td>15, 546, 000</td> <td>15, 546, 000</td> <td>46, 638, 000</td> <td>15, 546, 000</td> <td>15, 546, 000</td> <td>15, 546, 000</td> <td>15, 546, 000</td> <td>62, 184, 000</td> <td>147, 603, 000</td>	事	事業費合計	計画額	12, 927, 000	12, 927, 000	12, 927, 000	38, 781, 000	15, 546, 000	15, 546, 000	15, 546, 000	46, 638, 000	15, 546, 000	15, 546, 000	15, 546, 000	15, 546, 000	62, 184, 000	147, 603, 000
費 事業費予算の 内容 開末手当 2, 354干 開末手当 2, 354干 開末手当 2, 354干 開末手当 2, 354干 開東弁償 34千円 会計年度職員費用 会計年度職員費用 会計年度職員費用 会計年度職員費用 弁償 10.717千円 会計年度職員費用 弁償 125千円 弁償 125千円 弁償 125千円 弁償 125千円 弁償 125千円 弁償 152千円 カウル 製 報酬 10. 286千円 表計年度職員費用 弁償 10. 717千円 製 利 11, 685千 円 期末・勤勉手当 4, 531千円 費用弁償 54千円 会計年度職員費 用弁償 202千円 費用弁償 54千円 費用弁償 54千円 費用弁償 54千円 費用弁償 54千円 会計年度職員費 用弁償 125千円 弁償 125千円 弁償 125千円 非末・勤勉手当 5, 071千円 費用弁償 54千円 費用弁償 54千円 会計年度職員費 用弁償 202千円 財末・勤勉・手当本・・動・シー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7		予算計上額	12, 918, 000	12, 446, 000	12, 811, 000	38, 175, 000	15, 504, 000	16, 985, 000	0	32, 489, 000	0	0	0	0	0	70, 664, 000
費の内容     期末手当 2,354千 期末手当 2,354千 期末手当 2,354千 用	業		実績額					, ,	0	0	15, 865, 152	0	0	0	0	0	51, 775, 094
事業費予算の内容     円費用弁債 34千円 会計年度職員費用 会計年度職員費用 会計年度職員費用 弁債 125千円	書			報酬 10,227千円	報酬 10,124千円	報酬 10,286千円											
の	,,,	車業費予質の		H	円	円											
推	の								5,071千円								
移 前年度予算と の地 切り	+4±			弁償 303千円	去司 平及職員負用 弁償 125千円	去司 平及職員負用 弁償 152千円		云可平及職員員 用弁償 202千円	費用弁償 54千								
移 前年度予算と の増 減額調整等によ 手当率・会計年 皮費用弁償の増 当の増 「当本・動勉手」 当本の増 「一本の地較」(増減理由) 「「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1胜			期本手出計上額	中帯ロ粉にトス	超型		超酬 第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	超型 第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十								
の比較 (増減理由)	移	前左 座 圣管 し				手当率・会計年		手当率・勤勉手									
(增減理由)					る減	度費用弁償の増		当の増	当率の増								
出動日教による  出動日教による  出動日教による  超動単価・期末																	
出勤日数による 出勤日数による 出勤日数による 超勤単価・期末																	
AND ACTOR OF BANK AND AND ACTOR OF THE ANTA ACTOR OF THE ANTA ACTOR OF THE ANTA ACTOR OF THE ACT				出勤日数による	出勤日数による			報酬単価・期末									
実績との比較 報酬額等の減 報酬額等の減 報酬額等の減 報酬額等の減 「新聞額等の減」 「新聞額等の減」 「新聞額等の減」 「「新聞額等の減」 「「「「「」」」 「「」」 「「」」 「「」」 「」」 「「」」 「」」		実績との比較		報酬額等の減	報酬額等の減	報酬額等の減											
「(増減理由)   コンター		(増減理由)															
						<u> </u>											

推	標の推	移・評価	6														
汪	動指標	1 (「手具	殳」をもとに設定)		援教育支援員配置	数	指標の求め方:特										
成	果指標	1 (「成身	果」をもとに設定)	指標名:配置率			指標の求め方:酢	記置校/配置を必要									
				Andre of the other		3 力年計画		Mr. a. br. vie		3 力年計画		70t - 1-1-		3次実施4力年記	1		第7期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次(6年度)	第5年次(7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年合計	第7年次(9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		活動指				6		3	3	3	3	3	3	3	3		
	指標	(単位	入場間		6 6	6		100	100	100		100	100	100	100		
	1示	成果指				100 100. 0		100 100	100	100		100	100	100	100		
			達成度 指標をもとに評価				達成されている										
		事業の(成果)	成果 指標をもとに評価				上がっている										
							上がっている										
							極めて良好である										
the test that	価 務 内	部 評価内容 総合評価の判断標のまま値に関する自己分析 今後の方向性		る 電 重 生 徒 し 、 も も に に の 、 の あ る 。 と を は に の 、 の あ る 。 と も も も も も も も も も も も も も	自支見のできる確後校え数できる確後校え数できるをしているのある。	る児童生徒を的確に把いてをしている。現立をはいれている。これでは、これではいいでは、これではいいでは、これではいいでは、これではいいでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	していても、必可な児童生徒に要ないでは、 な児童生徒に要ないといるというでは、 しているというでいる。 しているでは、 はいいでもいる。 はいいでもいる。 はいいでもいる。 はいいでもいる。 はいいでもいる。 はいいでもいる。 はいいでもいる。 はいいでもいる。 はいいでもいる。 はいいでもいる。 はいできまする。 はいできまする。 はいできまする。 はいできまする。 はいできまする。 はいできまする。 はいできまする。 はいできまする。 はいできまする。 はいできままない。 はいできままない。 はいできままない。 はいできままない。 はいできない。 はいできない。 もないできない。 もないでもない。 もないでもない。 もないでもない。 もないでもない。 もないでもない。 もないでもない。 もないでもない。 もないでもない。 もないでもない。 もないでもない。 もないでもない。 もないでもない。 もない。 もないでもない。 もない。 もない。 もない。 もない。 もない。 もない。 もない。	る児童生徒を的会に一般に一般に一般に一般に一般に一般に一個で一個で一個で一個で一個で一個で一個で一個で一個で一個で一個で一個で一個で一		自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の					現状のまま継続										
				R5:	1 7 N 7 + 10 0 1	の主揺がりまたに	きたはになりむ	R8 :				R10 :				<u> </u>	
	改割	可性の判 き、改革の 5、R8、R	の内容	置が必要である 「現状のまま継 但し、令和8年に	していても、個別 と判断され、日間状 続」が望ましい事 二義務教育学校へ系 後考えていく必要	は適切に配置され 業である。 充合された際の適〕	ていることから										

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	特別支援学級	連絡協議会交	<b>E付金事業</b>		事業期間	_	年度 ~ —	年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-2-5	他に関連する 基本事業						所管課係	学務課学校教育係
目的(何のために実施するのか)	教職員が特別支持	爰教育に関する研	究を深めることで	、特別支援教育(	- の質の向上を図る。				特別支援学級を記 支出する。	<b>设置している学校</b>	や特別支援学級担	当教諭で構成され	ιている特別支援 <sup>s</sup>	学級連絡協議会に対し、交付金を
対象 (誰・何を対象として いるのか)	特別支援学級を記	投置している学校	や特別支援学級担	当教諭で構成され	れている特別支援学	产級連絡協議会	Ö	成果 (どのような効果が 得られるのか)	特別支援学級を記 教育に関する専門	设置している学校 門的な知識や技術	の校長、教頭及び の取得により、特	学級担任が各種研 別支援学級に在籍	研究会及び研修会  いる児童生	に参加することにより、特別支援 走への指導力の向上が図られる。
事業開始時の状況 緯	・これまでの経													

# [DO]

実績

				第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3 次実施4カ年計	·画		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
	国	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	道					0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	地 方 億					0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
入	その他					0				0					0	0
<b>₹</b>		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
れ	一般財源		228, 000	228, 000	,	684, 000	343, 000	0.0,000	343, 000	.,,	343, 000	343, 000	343, 000	343, 000	1, 372, 000	3, 085, 000
た		予算計上額	229, 000	229, 000	,	668, 000	343, 000	294, 000		637, 000					0	1, 305, 000
12		実 績 額	219, 200	247, 200		693, 100	260, 400			260, 400					0	953, 500
事	事業費合計		228, 000	228, 000	228, 000	684, 000	343, 000	343, 000	343, 000	1, 029, 000	343, 000	343, 000	343, 000	343, 000	1, 372, 000	3, 085, 000
****		予算計上額	229, 000	229, 000	210, 000	668, 000	343, 000	294, 000	0	637, 000	0	0	0	0	0	1, 305, 000
業		実 績 額	219, 200	247, 200	226, 700	693, 100	260, 400	0	0	260, 400	0	0	0	0	0	953, 500
費の推	事業費予算 <i>0</i> 内容		障害児教育推進 連絡協議会交付 金 229千円	連絡協議会交付 金	障害児教育推進 連絡協議会交付 金 210千円		特別支援学級連絡協議会交付金 343千円	特別支援学級連絡協議会交付金 294千円								
移	前年度予算と の比較 (増減理由)		道言協への交付 金額変更による	前年度同額	中学校統合によ る石山中学校負 担分の減		道特連・道言 協・空言協への 交付金額変更に よる	協・空言協への								
	実績との比較 (増減理由)	交	情緒障害児在籍 校の減等による 減額補正。3月 補正額△9千円	(言語クラス)の増による。	特別支援学級在 籍数・負担額の 増による。 3月補正額18千 円		交付金額変更に よる減									

指標	の推移	・評価															
活動	指標 1	(「手段」をもとに	定)	指標名:交付金	額		指標の求め方:特	寺別支援学級連絡	協議会交付金額								
成果	指標 1	(「成果」をもとに	定)	指標名:各種研	究団体会員総数		指標の求め方: 特	寺別支援学級数及	び特別支援学級児	童生徒数により	会員数が変動する	ため、計画値は設	定せず実績のみの	管理とする。			
						3 カ年計画				3 力年計画				3次実施4力年記			第 7 期
				第1年次(3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次(6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施 4 力年 合 計	総合計画合計
		活動指標 1	計画値	228				228				228	228	228	228		
	指標	(単位/千円)	実績値	220		227		261									
	憬	成果指標 1 (単位/%)	計画値 実績値	35	{	35	-	35			-		<u> </u>		<u> </u>		
		事業の達成度			30	00	ほぼ達成されている										
		(活動指標をもと事業の成果	-評価)														
		成果指標をもと	評価)				少し上がっている										
		事業の効率性(事業費に対する	(果)				上がっている										
		総合評価					良好である										
				自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由: 特別支援学級に	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
				る児童生徒が	る児童生徒が	る児童生徒が	携わる教員が集	る児童生徒が									
				年々増加傾向で  あり、多様化す	年々増加傾向で あり、多様化す	年々増加傾向で あり、多様化す	まり、その区分 に応じた様々な	年々増加傾向で あり、多様化す									
				る様々な課題を	る様々な課題を	る様々な課題を		る様々な課題を									
				一堂に会し、研	一堂に会し、研	一堂に会し、研	有でき、また、	一堂に会し、研									
事	===			究成果の発表や 指導方法等を協	究成果の発表や 指導方法等を協	究成果の発表や 指導方法等を協	連携体制の構築の場となるな	究成果の発表や 指導方法等を協									
	評価			議する貴重な機	議する貴重な機	議する貴重な機	ど、特別支援教	議する貴重な機									
務	内			チェートリ リ	チェートリ リ	チェートリ ツ	育の指導に係っ ては重要な協議	チェートロ ル									
	容	総合評価	の判断	該事業が必要と	該事業が必要と	該事業が必要と	ては重要な協議 会と言えること から判断した。	該事業が必要と									
事		の実績値	に関す	T101 C C 00	TIMI C C '0'	T-18/1 C C -000	がらず間でた。	TIMI C C '0'									
業	理由または指標。 の実績値に関す る自己分析																
未																	
評																	
価																	
ІЩ																	
		今後の方向性					現状のまま継続										
				R5: 特別支援学級の	児童生徒数は増加	傾向で 適切な指	≨道方法±. 多様化	R8 :				R10 :					
				する中、特別支	援教育に携わる教	員の情報共有や連	₫携体制を構築す										
				るうえで重要な <sup>∙</sup>  した。	協議会であること	から、「現状のま	:ま継続」と判断										
	方向作	生の判断理由															
		改革の内突															
	改善、	改革の内容 R8、R10)															
	改善、	改革の内容 R8、R10)															
	改善、	改革の内容 R8、R10)															

# 第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

#### [PLAN]

事務事業の目的と成果

	総合戦略掲載	0	過疎計画掲載	0
--	--------	---	--------	---

事 業 名	砂川高校支援	<b>賽事業</b>			事業期間	平成2	5 年度 ~	— 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-2-6	他に関連する 基本事業						所管課係	学務課総務係
目的 (何のために実施する のか)		高校に在学する5    入学間口数の確保?		内な支援を継続す	することで教育活動(		魅力のある学校	づ 手段 (どのような方法で 実現するのか)	①生徒募集用チ (全額) ④予( 学見学バス代補 協議) ⑩部活	<b>備校サテライト授</b>	生徒募集用チラシ 業補助(全額) 護職員初任者研修 助(個人3万円・団	⑤検定試験受験料 費補助(全額) ( 団体は協議) ⑪大	補助(全額) ⑥ ⑨部活動全道大会	新聞」広報すながわ折込手数料 模擬試験受験料補助(全額)⑦大 出場補助(個人1万5千円・団体は (私立1人10万円、国公立1人30万
対象 (誰・何を対象として いるのか)	砂川高校及び砂川 交付。)	高校に在学する9	生徒を対象とし、砂	沙川高校に交付す	する。(生徒対象分)	<b>ま砂川高校を経</b>	由して各保護者	成果 (どのような効果が 得られるのか)		数を確保し市内唯- との関わりなど地は			ることで、市内小	・中学校との連携や生徒による地
古米明が叶の北辺	- 4 + - 0 47	砂川高校は、平原	成16年に砂川北高校	そと砂川南高校が	「統合されたものでも	あり、当時は6間	『口で学校運営を	行っていたが、年々	 、生徒数が減り、	平成28年度には3間	間口まで減少した。	ことから、砂川高村	交と協議を行った	中で、平成27年度にこれまで実施し

## [DO]

実績

					第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
				第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国	費	計 画 額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	地 方	債	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
投			実績額				0				0					0	0
	その	他	計画額				0				0					0	0
入		_	予算計上額				0				0					0	0
ŧ			実績額				0				0					0	0
	一般	財源	計画額	8, 016, 000	8, 016, 000	8, 016, 000	24, 048, 000	7, 969, 000	7, 969, 000	7, 969, 000	23, 907, 000	7, 969, 000	7, 969, 000	7, 969, 000	7, 969, 000	31, 876, 000	79, 831, 000
れ		L	予算計上額	8, 016, 000	7, 620, 000	8, 091, 000	23, 727, 000	7, 969, 000	7, 867, 000		15, 836, 000					0	39, 563, 000
+-		A 51	実績額	4, 381, 107	5, 946, 452	4, 539, 568	14, 867, 127	4, 217, 851			4, 217, 851					0	19, 084, 978
た	事業費	台計	計画額	8, 016, 000	8, 016, 000	8, 016, 000	24, 048, 000	7, 969, 000	7, 969, 000	7, 969, 000	23, 907, 000	7, 969, 000	7, 969, 000	7, 969, 000	7, 969, 000	31, 876, 000	79, 831, 000
事		_	予算計上額	8, 016, 000	7, 620, 000	8, 091, 000	23, 727, 000	7, 969, 000	7, 867, 000	0	15, 836, 000	0	0	0	0	0	39, 563, 000
अस			実績額	4, 381, 107	5,946,452 印刷製本費:チラシ	4,539,568 印刷製本費:チラシ	14, 867, 127	4, 217, 851 補助金(継続):	0   補助金 (継続) :	0	4, 217, 851	0	0	0	0	0	19, 084, 978
業費の推る	事業費予内容			印刷主統を対しています。 一般を対しています。  「他のではないまする。 一般を対しています。  「他のではないまする。  「他のではないまする。  「他のではないまする。  「他のではないまする。」 「他のではないまする。」  「他のではないまする。」 「他のではないまする。」  「他のではないまする。」 「他のではないまする。」  「他のではないまする。」  「他のではないまする。」 「他のではないまする。」  「他のではないまする。」 「他のではないまする。」  「他のではないまする。」  「他のではないまする。」 「他のではないまする。」 「他のではないまする。」  「他のではないまする。」  「他のではないまする。」  「他のではないまする。」 「他のではないまする。」  「他のではないまする。」  「他のではないまする。」  「他のではないまする。」 「他のではないまする。」  「他のではないまする。」 「他のではないまする。」  「他のではないまする。」  「他のではないまする。」  「他のではないまする。」  「他の	印刷 手補テ表 素 素 を の の の の の の の の の の の の の	即 財 財 財 財 財 財 財 大 の に の に の に の に の に の の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の の の の の の の の の の の の の		サ定学全国話座テ、、道、型受済の大野、大学活金、では、大学活の学習、被検学活全、中国が大学の大学には、大学活金、中国が大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大	而分字。 一个 一个 一个 一个 一个 一个 一个 一个 一个 一个								
移	前年度予 の比 (増減理	較		(被服購入補助 272千円)	対象となる生徒の 見込み数の減(手 数料△62千円、補 助金△750千円)	ha / FRINN + 가수 HD		数料の減	対象となる生徒の 見込み数の減(サ テライト授業補助 金△108千円)								
	実績との			回ったため。(検 定、模擬試験△439千 円、部活動△595千	数が当初の予定を 下回ったため。 (模擬試験△303千 円、対話型プログ	対象となった生徒数 が当功の予定を下 回ったため(模擬 試験公421千円、介護 研修公396千円、集中 講座公54千円、大学 入学公1,200千円)		対象となった生徒 数が当かの予め。 下回ったため 「部活動全道△550 千円、5対話型学習 ム445千円、集、大学 入学△1,200千円)									

活動	指標 1	(「手段	」をもとに設定)	指標名	砂川高	校の支援に係る経済	ŧ	指標の求め方:印	D刷製本費、手数 <b>料</b>	4、補助金の支給3	<b></b>							
成果	指標 1	(「成果	」をもとに設定)	指標名:	砂川高	校への入学間口数		指標の求め方:砂	沙川高校を受験し、	実際の入学間口数	效							
						第 1 次実施	3.3 力年計画	•		第2次実施	3 力年計画			筆	3次実施4力年計	画		<i>~</i> ~ ¬ ₩0
					年次	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	第 7 期 総合計画 合 計
	T	活動指標	票1 計画	_	8, 016		8,016		8, 016	8, 016	8, 016	- "	8,016	8, 016	8, 016	8,016	- "	
	指	(単位/			4, 382		4, 540		4, 218	0, 0.0	0, 0.0		3,313	9,010	5, 5.5	5, 5.5		
	標	成果指	票1 計画	値	3	3 3	3		3	3	3		3	3	3	3		
		(単位/	/間口) 実績	値	3	3 2	2		2									
		事業の (活動指	達成度 ⅰ標をもとに評値	西)				ほぼ達成されている										
		事業の (成果指	成果 ∤標をもとに評(	西)				上がっていない										
		事業のダ (事業費	効率性 (に対する成果)					変わらない										
		総合評価	西					普通である										
事務事業評価	評価内容		総合評価のは 担由またはは の実績値の る自己分析	カのの大し増の指行援と等要ら努にい効砂携引確を支協し、加技しっのとへで、め、る果川もき保を支協し、加技しっのとへで、め、る果川もき保をでいる。 では、	校る高よら者在上援たる保知こ活と行内証と進入けのた校り継数校をを。充護がと動もっ容やのめ学て魅めと拡続の生目 支実者重かに ての、連、者支	力のの大し増の指行和間が図り較保この現を支協し、加技しつ4口、つ、しにと更在高援護な分及能です度なくこ年学ならるで、現代して4口、つ、しにと更在の上援たよっ周と度者が支完いがあるった校と拡続の生目 令2 をよ比確た援いるかと拡続の生日	のの大し増の指行和た授追充今な行内証と進入け支協し、加技しっちに業加実後るっ容やのめ学て接続な入及能して年『補しを、充ての、連、者支援はな学び向支き度国助、図支実い効砂携引確援高よ解数分ををより交別援たの現支の調・る果川・も等保をは終め、の場では、の場では、の場では、の場では、の場では、ののでは、のでは、ののでは、の	の大したし図学いえもし者け討要にがる校くいがもるしまを注意を表しませた。 つまならう引きの支継あるは、、、の者ならう引きの支継ある。 き鬼ほがるとくといがもるし続確援続る。 き保策す。 かんにをるは、 とのは、 とのは、 は続き、 とのは、 はんが、 はんが、 はんが、 はんが、 はんが、 はんが、 はんが、 はん	の 防 で は に が が が に が が に の を に が で の を に が で の を に で で で で で に で で に で に で に で に の ま に で に の で に の で に の で の に 。 に の に 。 に の に に の に に の に の に の に に の に に に に に に に に に に に に に	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後のス	方向性					現状のまま継続										
	改善.	R5: 平成27年度から砂川高校の魅力を消 議により拡大しながら継続してきたた 援策を検討しなければならない。 5向性の判断理由 大善、改革の内容 (R5、R8、R10)							R8 :				R10 :					

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	小中学校施設	整備事業			事業期間	平成	23年度 ~	_	年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外		第7期総合計画 の位置付け	3-2-6	他に関連す 基本事業	る	2-3-1	3-2-8				所管課係	学務課総務係
			から20年以上が経 快適な教育環境を		- んでいる事から、必	必要な改修や修	繕を行うこと <sup>・</sup>	Cyc	手段 (どのような方法で 実現するのか)	現地の確認、聞 経費で対応、④	き取り調査を行っ	たうえで、精査・ 画的に対応、⑤当	検討し、①年度内 面実施しないもの	内に対応、②新年 Dに区分して修繕	、提出された要望事項について、 度新規予算で対応、③新年度経常 等を実施する。また、要望調査対
対象 (誰・何を対象として いるのか)	・砂川小学校 ・空知太小学村	交:S 54·62年	豊沼小学校 : H4	・7年 ・石山	中学校 : S 46 · 50.	北光小学校: \$ .60年、 R 4 年			成果 (どのような効果が 得られるのか)	施設等の必要な 保される。	整備(改修・修繕	)を実施すること	により、児童・生	E徒の学校生活に	おける安全で快適な教育環境が確
事業開始時の状況 緯					日中学校を統合、令 □校舎が建設されて			の小学校5校、中	学校 1 校の配置	となり、施設の維	 持管理を行ってい	-3.			

# [DO]

実績

					第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	費	計画額	10, 660, 000	10, 555, 000	10, 555, 000	31, 770, 000	1, 148, 000			1, 148, 000					0	32, 918, 000
			予算計上額	10, 666, 000	0		10, 666, 000		28, 116, 000		28, 116, 000					0	38, 782, 000
			実 績 額	10, 294, 000			10, 294, 000	1, 100, 000			1, 100, 000					0	11, 394, 000
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	地	方 債	計画額	17, 100, 000	16, 100, 000	16, 100, 000	49, 300, 000				0					0	49, 300, 000
投		_	予算計上額				0				0					0	0
12			実績額				0				0					0	0
入	そ (	の他	計画額				0				0					0	0
4		_	予算計上額				0				0					0	0
\$	40	D.L. 100	実績額				0	00 000 000			0					0	0
れ	— 般	財源	計画額	15, 918, 000	54, 201, 000	28, 501, 000	98, 620, 000	20, 988, 000	10, 107, 000	1, 300, 000		1, 300, 000	1, 300, 000	1, 300, 000	1, 300, 000	5, 200, 000	175, 515, 000
		_	予算計上額	46, 360, 000	16, 170, 000	14, 471, 000	77, 001, 000	28, 076, 000	31, 974, 000		60, 050, 000					0	137, 051, 000
<i>t</i> =	- 444. 1	# 스트	実績額	46, 581, 959	16, 919, 118	17, 494, 861	80, 995, 938	22, 825, 651		4 000 000	22, 825, 651	1 000 000	1 000 000	1 000 000	1 000 000	5 222 222	103, 821, 589
事	争 兼 :	費合計	計画額	43, 678, 000	80, 856, 000	55, 156, 000	179, 690, 000	22, 136, 000	49, 407, 000	1, 300, 000	72, 843, 000	1, 300, 000	1, 300, 000	1, 300, 000	1, 300, 000	5, 200, 000	257, 733, 000
,		-		57, 026, 000	16, 170, 000	14, 471, 000	87, 667, 000	28, 076, 000 23, 925, 651	60, 090, 000	0	88, 166, 000 23, 925, 651	0	0	0	0	0	175, 833, 000 115, 215, 589
業			夫 棋 観	56, 875, 959 修繕料	16,919,118 修繕料	17, 494, 861 修繕料	91, 289, 938		修繕料、備品購	U	23, 925, 651	0	0	0	0	0	115, 215, 589
費の推		麦予算の 内容		委託料 (ワックス 塗布) 工事請負費 備品購入費(ガス 器具、ブール上屋) 楽器購入費	工事請負費 備品購入費(芝 刈機) 楽器購入費	工事請負費(北 光小、空小旧教 員住宅解体、旧 石中空調設備移 設)		負費(旧石山中 学校教員住宅解 体)、備品購入 費(小中学校務 用パソコン購 入)	入費 (GIGAス クール情報端 末・豊小プール 上屋シート等)								
移	<b>の</b> 」	度予算と 比較 域理由)		いによる増(対前 年比163.7%)	(対前年比	事業メニューの 違いによる滅 (対前年比 89.5%)		による減(対前年比 194%) 備品購入費の増(小 学校費15,393千円、	事業メニューの違い による増(対前年比 214%の 備品購入費の増(小 学校費39,818千円、 中学校費16,087千 円)								
		:の比較 域理由)		費) △2,268千 円	繕料の増(小学 校費1,180千 円、中学校費96	繕料の増(小学 校費2,855千		入札減(小中学 校校務用パソコ ン購入)									

181	キャン 1圧で	P - 841M															
活動	助指標 1	(「手段」をも	とに設定)	指標名:施設整備	<b>備に係る経費</b>		指標の求め方:於	施設整備に係る事	業費(実績)								
成	見指標 1	(「成果」を持	とに設定)	指標名:施設・詰	設備・教材等の整	備の満足度	指標の求め方:	学校評価アンケー	トで「満足」「概	[ね満足」と回答	した保護者の割合	(小学校5校、中学	校2校)				
					第 1 次宝성	13 力年計画			第2次軍権	3 力年計画			笋	3次実施4力年	計画		
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	● 夫肥3ガギ	(6年度)	(7年度)	(8年度)	一 美胞 3 ガギ	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	大肥4ガギ 合計	合 計
	1	活動指標 1	計画値	43. 678	80, 856			10, 856	61, 603	1,800		8, 729		(日午及)	(12年度)		
	指	(単位/千円		56, 876	16, 920	17, 495		23, 926	01,000	1,000	í	0, 723	<b></b>				
	標	成果指標 1	計画値	83. 3	83. 3			83. 3	84. 5	91.8		84. 5	84. 5	84.	5 90.0		
		(単位/%)	実績値	90. 9	91.8			95. 2	01.0	01.0			01.0				
		事業の達成		00.0	0	00. 1											
			もとに評価)				あまり達成されていない										
		事業の成果					少し上がっている										
		(成果指標を	もとに評価)				少し上からている										
		事業の効率					少し上がっている				I						
		(事業費に対	する成果)														
		総合評価					普通である										
				自己分析: 学校施設・設	自己分析: 学校施設・設	自己分析: 学校施設·設	判断理由: 全ての学校が	自己分析: 学校施設·設	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
					子校施設・設備の老朽化に伴	備の老朽化に伴	筆Cの子校が 築20年を経過し										
				い、学校からの	い、学校からの	い、学校からの	老朽化が進んで	い、学校からの									
						修繕要望に対す											
				る修繕よりも尖	る修繕よりも突	る修繕よりも突	て、突発的な修										
				完的な修繕の致 の方が多く 坐	完的な修繕の数 の方が多く 坐	発的な修繕の数の方が多く 坐	槽の美施によ り 学校生活へ	発的な修繕の数 の方が多く 半									
事				数以上を占めて	数以上を占めて	の方が多く、半 数以上を占めて	の支障や重大な	数以上を占めて									
7	評			いる状況である	いる状況である	いる状況である が、児童・生徒	事故にはつな	いる状況である									
	価			が、児童・生徒	が、児童・生徒	が、児童・生徒	がっていない。	が、児童・生徒									
務	内			の女全面が最慢	の安全面が最慢	の安全面が最優 先のものから実	また、各字校の	の女全面が最慢									
	容	412 4	* 単体の判断	佐し ていること	元のものから夫 施していること	施していること	<b>仏忠に心した以</b> 修・修繕が押わ	左のものから夫 施していること									
		理日	日または指標	から、大きな事	から、大きな事	から、大きな事	計画通りに行わ	から、大きな事									
事		のヨ	€績値に関す	故等は発生して	故等は発生して	故等は発生して	れている事か	故等は発生して									
		8 E	1己分析	いない。	いない。	いない。	ら、効率的に事業が実施される	いない。 令和8年度に									
業				は、小・中学校	は、義務教育学	今後において は、義務教育学	米が美心されているものと判断	おおおおおおおおお									
				の適止配直によ	校開校に向け	夜開校に同け	される。	が開校すること									
					て、計画的に維			から、計画的に									
評				備か予定されて いることから、	持していく必要 がある	持していく必要  がある。		維持していく必 要がある。									
				計画的に維持し	73.00.00	73.00.00		女がめる。									
価				ていく必要があ													
,				る。													
		今後の方向	±				現状のまま継続										
				R5 :				R8 :			П	R10 :				11	
				築20年以上経過		延命化を図り、安											
						き続き、突発的に	発生する修繕を										
				行っていく必要が		大規模な施設の不	目合が増加傾向										
						スペ候な心設のイ 学校開校を予定し											
	方向位	生の判断理由			寺していく必要が												
		改革の内容		1													
		R8、R10)															
				1													
				1													
				1													
								I				I					

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	学校教材備品	充実事業			事業期間	_	年度 ~ —	年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-2-6	他に関連する 基本事業	3-3-2					所管課係	学務課総務係
(何のために実施する	提供し、学校教育	校図書館用の図書	円滑な運営を図る事 書の入替えや不足図					手段 (どのような方法で 実現するのか)	1 - Mr	口し、3月に教材値	備品の購入計画書、	、4月に学校図書		均等割、学級数割等により算定し 画書の提出を受けた後、計画内容
対象 (誰・何を対象として いるのか)	小・中学校の児童	重生徒。						成果 (どのような効果が 得られるのか)	ができる。	ま は、国が は、国が	が目標として設定			やすく充実した授業を提供ることけていくことで必要な蔵書数の確
事業開始時の状況 緯	・これまでの程	事業の1つとして	て位置付けられてき	た。			欠かすことのできな 行に関する事務分掌				<b>才政改革等により</b> 約	経常経費の削減等で	を実施した際にも、	、予算を確保すべき優先順位の高い

## [DO]

実績

		第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
国 費 計画				0				0					0	0
予算計_				0				0					0	0
実績				0				0					0	0
道費計画	144.			0				0					0	0
予算計_				0				0					0	0
実績	144.			0				0					0	0
地 方 債 計 画				0				0					0	0
予算計_				0				0					0	0
投 実績				0				0					0	0
その他計画				0				0					0	0
入 予算計_				0				0					0	0
実績				0				0					0	0
一般知源 計画	.,,		5, 903, 000	17, 709, 000	3, 218, 000	2, 895, 000	2, 067, 000	8, 180, 000	2, 040, 000	2, 000, 000	1, 997, 000	1, 944, 000	7, 981, 000	33, 870, 000
れ 予算計_			3, 558, 000	14, 048, 000	3, 218, 000	1, 584, 000		4, 802, 000					0	18, 850, 000
実績			3, 399, 280	13, 194, 829	1, 711, 196			1, 711, 196					0	14, 906, 025
事業費合計 計画			5, 903, 000	17, 709, 000	3, 218, 000	2, 895, 000	2, 067, 000	8, 180, 000	2, 040, 000	2, 000, 000	1, 997, 000	1, 944, 000	7, 981, 000	33, 870, 000
事 予算計_	-,,	, ,	3, 558, 000	14, 048, 000	3, 218, 000	1, 584, 000	0	4, 802, 000	0	0	0	0	0	18, 850, 000
実績			3, 399, 280	13, 194, 829	1, 711, 196	0	0	1, 711, 196	0	0	0	0	0	14, 906, 025
業	小学校教材備品 費・図書購入	小学校教材備品 費・図書購入	小学校教材備品 費・図書購入		小学校教材備品 費・図書購入	小学校教材備品 費・図書購入								
費事業費予算の	費、中学校教材	費、中学校教材	費、 中学校教材		費、中学校教材	費·因音牌八 費、中学校教材								
内容	備品費・図書購	費、中学校教材備品費・図書購入費、通級指導	備品費・図書購		費、中学校教材 備品費・図書購 入費、通級指導	備品費・図書購								
0	入費、通級指導	入費、通級指導 教室教材備品費	入費、通級指導		入費、通級指導 教室教材備品費	入費、通級指導								
+#		児童生徒数の減				教主教や哺品員 砂川学園開校に								
推	少による減(小学	少による減(小学	による減、石山			向けた備品購入								
移	校教材備品費△	校教材備品費△	中学校閉校によ		学校教材備品費									
前年度予算と の比較	193千円、中学校	<ul><li>896千円、中学校</li><li>8 教材備品費△381</li></ul>	る減(小学校教			教材備品費△ 1.122千円、中学								
(増減理由)	千円)	千円、通級指導	中学校教材備品		△91千円)	校教材備品費△								
		教室教材備品費	費△752千円)			412千円、通級指								
		△39千円)				導教室教材備品 費△100千円)								
	122, 047円	572 404円 (執行	158,720円(執行		砂川学園開校に	夏△1001日/								
中体上のい社	(執行残)	残)	残)		向け、教材備品									
実績との比較(増減理由)					の購入を精査し									
(-8///-214/					たことによる減									
						<u> </u>								

活動	指標 1	(「手段」をもとに設定)	指標名:教材備品	品に係る経費		指標の求め方:教	対備品に係る事業	業費(実績)								
成果	指標 1	(「成果」をもとに設定)	指標名:施設・討	殳備・教材等の整(	<b>備の満足度</b>	指標の求め方:学	校評価アンケー	トで「満足」「概	ね満足」と回答し	た保護者の割合(ハ	小学校5校、中学校	2校)				
				第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年 合 計	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年 合 計	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		活動指標 1 計画値	(3年度) 5,903	(4年度) 5,903	(5年度) 5,903		(6年度) 5,903	(7年度) 5,903	(8年度) 5,903		(9年度) 5,903	(10年度) 5,903	(11年度) 5,903	(12年度) 5,903		п п
	指	(単位/千円) 実績値	5, 781	4, 015	3, 400		1, 712	0, 000	0,000		0,000	0, 000	0,000	0,000		
	標	成果指標 1 計画値	83. 3	83. 3	83. 3		83. 3	84. 5	84. 5		84. 5	84. 5	84. 5	90.0		
		(単位/%) 実績値	90. 3	91. 8	95. 1		95. 2									
		事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				ほぼ達成されている										
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				少し上がっている										
		事業の効率性(事業費に対する成果)				少し上がっている										
		総合評価				良好である										
			自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
			必要な教材備 品は、提出され	必要な教材備 品は、提出され	必要な教材備	教材備品に係 る予算を各学校	砂川学園の開									
			た購入計画書に	た購入計画書に	た購入計画書に	に配当する事	ことを踏まえ、									
			基づき100%購入 L ており 多学	基づき100%購入	基づき100%購入	で、それぞれの 教育目標の達成	教材備品についてけ 必要なま									
				校の教育目標に	校の教育目標に	や特色のある授	のを精査したう									
_			添った効果的な			業を行うための 効果的な備品が										
事	評		された。	された。	された。	購入されてい	計画値を大きく									
	価		また、図書購	また、図書購	また、図書購	る。	下回った。しか									
務	内		予算を各学校へ	予算を各学校へ	予算を各学校へ	また、備品のう ち学校図書の購	した備品は各学									
	容	総合評価の判断	配当することで	配当することで	配当することで	入額を定める事	校の教育目標に									
事		埋田または指標 の実績値に関す	成書剱が年々増 え、児童生徒の	咸書剱が年々瑁 え、児童生徒の	成者叙か年々瑁 え、児童生徒の	で、毎年、一定程度の増冊が図	添っく効果的に 活用されてお									
		る自己分析	自主的な学習活	自主的な学習活		られており、限										
業			動の糧になっ た。	動の糧になっ た。	動の糧になっ た。	られた予算の中 で事業の目的が										
						概ね達成されて	も高い結果と									
評						いるものと判断 される。	なつに。 また、図書購									
							入を目的とした									
価							予算を各学校へ 配当することで									
Щ							蔵書数が年々増									
							え、児童生徒の 自主的な学習活									
							動の糧になっ									
		^% o + o #				田小の土土物は	た。									
		今後の方向性	R5 ·			現状のまま継続	R8 ·				R10 :					
			教材備品につい		囲内において、各						K10 .					l
			■達成や特色のある り 故障品や古く	る授業を行うための なった教材備品の	の効果的な備品はる の更新は今後も必要	ある程度揃ってお										l
			ICTに係る教材備	品の購入も増えて	おり、学校が定め	た計画を基に購										l
					図書の充実につい <sup>・</sup> て毎年一定程度の <sup>1</sup>											
		i と き き き き き き き き き き き き き き き き き き	事で蔵書率の向上	上に努め、自主的な	は学習活動につなり	ずていく。										l
		R8、R10)														
																l
																l

# 第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	就学時健康診	断等事業			事業期間	_	年度 ~ —	年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-2-7	他に関連する 基本事業	1-3-5					所管課係	学務課学校教育係
目的 (何のために実施するのか)			じめ健康診断及び 助言や指導を行う		・ することにより、s	<b>忧学予定者の状</b>	況を把握し、保護	手段 (どのような方法で 実現するのか)	市内小学校の次名	年度第1学年入学う 雑し、1部屋の中で	ラ定者を一同に集 ミ学校教諭の指導	め、健康診断及び のもとで行う。	知能検査を実施す	る。知能検査について、保護者か
対象 (誰・何を対象としているのか)	小学校就学予定者	Ť						成果(どのような効果が	は、保護者に情報	報提供し、適切な に応じて、専門家	就学の場の検討に で組織する砂川地	こついて、早期に対	応を図るよう相 進委員会におい	発達に遅れの懸念が見られた場合 谈やアドバイスを行うことができ て、就学後の在籍学級等(普通学 判断材料になる。
事業開始時の状況緯	・これまでの経	学校保健安全法で	で、次年度就学する	る予定の市内在位	主児童について実施	することが規ジ	定されている。							

## [DO]

実績

						第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年計	一		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画合計
	_	-	***	51 T AT	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	П пі
	国	貨		計画額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
	\44	-		実績額				0				0					0	0
	道	賃		計画額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
				実績額				0				0					0	0
	地	方 信		計画額				0				0					0	0
投				予算計上額				0				0					0	0
,				実 績 額				0				0					0	0
入	そ	の他		計画額				0				0					0	0
<b>₹</b>				予算計上額				0				0					0	0
			_	実 績 額				0				0					0	0
れ	一 般	財源		計画額	2, 000				2, 000		2, 000		2, 000	2, 000	2, 000	2, 000	8, 000	20, 000
<i>t</i> =				予算計上額	2, 000		2, 000		2, 000	2, 000		4, 000					0	10, 000
/-				実 績 額	880	,	0	2, 640	0			0					0	2, 640
事	事業	費合計		計画額	2, 000		2, 000		2, 000	-,	2, 000	6, 000	2, 000	2, 000	2, 000	2, 000	8, 000	20, 000
				予算計上額	2, 000		2, 000		2, 000	2, 000	0	4, 000	0	0	0	0	0	10, 000
業				実 績 額	880		0	2, 640	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2, 640
費					費用弁償	費用弁償	費用弁償		費用弁償	費用弁償								
,,,	車業を	費予算σ	ח															
の	# * J	内容	"															
144																		
推			4		<b>並左连回</b>	<b>並左连回</b> 短	並左连回怒		<b>並左连尼</b> 茲	<b>並左连同</b> 類								
移					前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額	前年度同額								
	前年	隻予算と ○比較	ᅵ															
		成理由)																
		~																
					教育相談従事者	予算通り執行し	教育相談従事者		教育相談従事者									
	ct= 6± 1	L			が1名減ったこ	ている	が欠席による減		が欠席による減									
		との比較 咸理由)			とによる減額		額		額									
	(-B#	, <u> </u>																
						<u> </u>		<u> </u>	U	<u> </u>			l			<u> </u>		

活動打	旨標 1	(「手具	段」をもとに設定)	指標名:就学時	健診受診率		指標の求め方:	当該年度における	就学時健診におい	て、就学指導の対	対象となった児童	が受診した割合(倒	診受診者/健診受	診対象者)			
成果排	指標 1	(「成男	果」をもとに設定)	指標名:教育相	談件数		指標の求め方:京	就学時健診におけ	る教育相談件数(	教育相談件数につ	ついては、計画値	の設定が困難であ	るため実績値のみ	の管理とする)			
					第1次実施	13カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
				第1年次(3年度)	第2年次(4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		活動指				100.0		100. 0	100.0	100.0		100.0	100. 0	100.0	100. 0		
	指標	(単位	ス様に		0 100.0	100.0		100.0									
	Jak	成果指 (単位			8 8	13						<b> </b>					
			)達成度 指標をもとに評価				達成されている										
		事業の (成果)	)成果 指標をもとに評価	)			上がっている										
		(事業)	)効率性 費に対する成果)				上がっている										
		総合評	平価	自己分析:	自己分析:	自己分析:	極めて良好である 判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
事務事業評価	評価内容		総合評価の判 理由または指 の実績値に関 る自己分析	就れ知たあ教を識援教こ施にの。急校検門別員担担持校相にの。験校検門別員担と学育とが、る員担を学育とがあれ、る人間と学育とがある。。	おいます。 「一般を対していまする。 「一般を対していまする。 「一般を対していまする。 「一般をはなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	就れが、る員担を学育なが、る員担を学育なが、る員担を学育とで実務が知い時を相でいる。 は、日本のの歌門のでは、一次の歌門の歌門の歌門の歌門の歌門の歌門の歌門の歌門の歌門の歌門の歌門の歌門の歌門の	令もウのていをと常は学うのていをと常は学うのていをと常はとうなた者のになったる。 かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいま	就れが、を満り、大きな、大きな、大きな、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大き									
		今後の	方向性				現状のまま継続										
	改善、	生の判匿 . 改革 0 . R8、R	の内容	R5: 学校保健安全法 のまま継続」と	・ で規定している項 した。	ー 目について実施し	ており、「現状	R8 :				R10 :					

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 〇

事 業 名	スクールバス	購入・運行事	業		事業期間	令和 7	7年度 ~	令和12年度						•	<del></del>
事業性質区分	新規・継続	新規	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-2-8	他に関連す 基本事業	る	_	_				所管課係	学校再編課学校再編係
目的(何のために実施するのか)	中学校の統合及び	<b>ぶ</b> 義務教育学校の	開校により、遠距	離通学となる児	童・生徒が安心・安	全に通学でき	るよう支援する	手段 (どのような方 実現するのか)	中学校統 し、8台	合によ <sup>し</sup> の運行で	りスクールバスを を委託する。	3台購入し、運行	を委託し、さらに	義務教育学校開材	とに向けスクールバスを5台を購入
	中学校の統合によ義務教育学校に近			校区の児童・生	徒及び義務教育学校	まより一定の距	離以上に居住っ	する 成果 (どのような効 得られるのか)	スクール る。	バスを則	購入し、運行を委	託することで、紡	た合により遠距離道	通学となる児童・:	生徒が安全に通学することができ
事業開始時の状況 緯	2・これまでの経														

# [DO]

実績

				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国 費	計画額				0		22, 500, 000		22, 500, 000					0	22, 500, 000
		予算計上額				0		19, 500, 000		19, 500, 000					0	19, 500, 000
		実 績 額				0				0					0	0
	道費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地方債	計画額				0		127, 500, 000		127, 500, 000					0	127, 500, 000
投		予算計上額				0		97, 738, 000		97, 738, 000					0	97, 738, 000
-		実績額				0				0					0	0
<b>A</b>	その他	計画額				0				0					0	0
<b>≥</b>		予算計上額				0				0					0	0
	40 01 75	実績額				0	10 007 000			0					0	0
れ	一般財源	計画額				0	18, 927, 000	20, 283, 000	59, 010, 000		59, 010, 000	59, 010, 000	59, 010, 000	59, 010, 000	236, 040, 000	334, 260, 000
t:	-	予算計上額				0	18, 927, 000	20, 554, 000		39, 481, 000					0	39, 481, 000
	± # # ^ = 1	実績額			•	0	18, 188, 536		50 040 000	18, 188, 536	F0 010 000	50 040 000	F0 040 000	50 040 000	0	18, 188, 536
事	事業費合計	計画額	0	0	0	0	18, 927, 000	170, 283, 000	59, 010, 000	248, 220, 000	59, 010, 000	59, 010, 000	59, 010, 000	59, 010, 000	236, 040, 000	484, 260, 000
*	_	予算計上額	0	0	0	0	18, 927, 000	137, 792, 000	0	156, 719, 000	0	0	0	0	0	156, 719, 000
未		実績額	0	0	0	0	18, 188, 536 燃料費 2, 806千円	W 料费 2 205千円	0	18, 188, 536	0	0	0	0	0	18, 188, 536
費								燃料費 2,205千円 消耗品費 494千円 役務費 132千円								
	事業費予算						委託料 15,950千円	委託料 16.780千円								
o o	の内容							備品購入費 581千円 車両購入費 117,238千								
推								円 公課費 362千円								
							入札による委託	スクールバス購入								
移	前年度予算						料の減及び燃料	に係る車両購入費 及び備品購入費、								
	との比較 (増減理						費の減	消耗品費、役務								
	由)							費、委託料、公課 費等の増								
								2000								
	中华人のは						燃料費の減									
	実績との比 較(増減理															
	由)															

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:乗車人数(延べ)	指標の求め方:年間延べ乗車児童生徒数
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:安全運行率	指標の求め方:年間運行便数に対し安全に運行実施できた便数の割合
活動指標 2	指標名:運行便数(延べ)	指標の求め方:年間延べ運行便数

70 20	指標 2			<b>扫</b> 標名:			指標の米の方:=		<b>**</b> · · · · · · ·			0					
						3 力年計画		tota a terral		3 力年計画	1			3次実施4力年記			第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第 5 年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施 4 力年 合 計	総合計画合計
		活動指標 (単位/人						— 24, 514		118, 400		118, 400	115, 600	116, 800	113, 200		
	指	成果指標	1 計画値					100.0	100.0	100.0		100.0	100.0	100.0	100.0		
	標	(単位/%	人根性					100.0	_	7, 200		7, 200	7, 200	7, 200	7, 200		
		活動指標: (単位/便						2, 213		7, 200		7, 200	7, 200	7, 200	7, 200		
		事業の達成 (活動指標	成度 『をもとに評価)														
		事業の成績	果														
		事業の効果	率性														
		(事業費に 総合評価	対する成果)				-										
		松口計Ⅲ		自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
事務事業評価	評価内容	型 0	総合評価の判断 理由または指標 D実績値に関す る自己分析					令学りクを校動路るう時運い砂にクでしに加ク入小ク車る練調すれた、一3休用をがブ間行る川つ一の、現えーす学一寸たも査るら紀経業に運、ル通を。学いル運令行ちルる生ルるめ業運。年合下バ路日1行大もり実。園でバ行和の台バ。かバこ、ね行度に校スでの台しきなに庇施、開はスを73のスまらスと乗たを度に校スでのもで3、部1てなく安し、校、8決年台スをたスにと車実実のよで3、部1てなく安し、校、8決年台スをたスにと車実実のよで3、部1でなく安し、校、8次年台スをたスにと車実実のよび3、第1									
		今後の方「		DC				DO				D10					
	改善.	性の判断理 、改革の内 、R8、R10)	<b>望由</b> 3容	R5 :				R8 :				R10 :					

# 第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

#### [PLAN]

事務事業の目的と成果

	総合戦略掲載	0	過疎計画掲載	0
--	--------	---	--------	---

事 業 名	小中学校適正	配置推進事業	ŧ		事業期間	平成30	0年度 ~ 令	·和12年度						
事業性質区分	新規・継続	新規(掲載)	建設・建設外		第7期総合計画 の位置付け	3-2-8	他に関連する 基本事業				-		所管課係	学校再編課学校再編係
(何のために実施する	少子化に伴い学校 教育指導及び統一 指す。	交の小規模化が進 −的な教育活動の	行する中、将来に 維持・確保等、充	渡り子どもたちの 実した教育環境の	- )持続的で健全な育 )整備を進め、小中	『成を図るため、 『学校の適正規	平等かつ公平な 奠・適正配置を目	手段 (どのような方法で 実現するのか)	者、保護者、地域お ルバスの運行計画、	よび関連団体等との協 学校の形態・建設につ	議を図る必要がある いて協議を行ってい	ことから、砂川市立小	中学校統合準備委員会育の導入を推進するが	調整が必要な事項については、学校関係 会を設置し、学校運営や施設整備、スクー とめ、砂川市小中一貫教育推進委員会を設 調査・研究を行う。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市立小中学校(児	己童・生徒)						成果 (どのような効果が 得られるのか)	· 高度情報化	やグローバル化等(	の適応を含め、新	で、統一的かつ充 所たな学習指導要領 生や規範意識等の向	[に沿った教育・	指導の推進が着実に図られる。
事業開始時の状況 緯	!・これまでの経	検討を開始し、 校にあっては、	関係する団体・組織 2 校を 1 校へ統合。	職の協力を得なが することとし、令	ら、令和元年6月 和4年度末に石山	に「砂川市立小 中学校を閉校し	ト中学校適正配置 ン、令和5年4月	基本方針」を策定し	ノ、小学校の統合に いした。また、令利	こあっては、教育 ロ4年に「砂川市	環境の統一的な整 義務教育学校基本	備や今後の小中連 構想」を策定し、	携等の円滑な推済	リ小中学校の適正規模・適正配置の 生を鑑みて、全5校を1校へ、中学 5態度、互いのよさを生かして協働

#### [DO]

実績

				第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	道 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	地 方 債					0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
-		実績額				0				0					0	0
	その他					0				0					0	0
à		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
れ	一般財源		1, 087, 000	8, 361, 000		37, 073, 000	1, 169, 000	1, 201, 000	477, 000	_, ,	477, 000	477, 000	477, 000	477, 000	1, 908, 000	41, 914, 000
t		予算計上額	1, 087, 000	1, 174, 000	931, 000	3, 192, 000	1, 169, 000	-, ,		4, 909, 000					0	8, 101, 000
/-		実績額	515, 160	1, 070, 219		2, 125, 545	645, 032			645, 032					0	2, 770, 577
事	事業費合計		1, 087, 000	8, 361, 000	27, 625, 000	37, 073, 000	1, 169, 000	1, 287, 000	477, 000	2, 933, 000	477, 000	477, 000	477, 000	477, 000	1, 908, 000	41, 914, 000
-444-		予算計上額	1, 087, 000	1, 174, 000	931, 000	3, 192, 000	1, 169, 000	3, 740, 000	0	4, 909, 000	0	0	0	0	0	8, 101, 000
耒		実績額	515, 160	1, 070, 219	540, 166	2, 125, 545	645, 032	0 4	0	645, 032	0	0	0	0	0	2, 770, 577
費			費用弁償 55千円	委員報償758千円 費用弁償 54千円	委員報償 700千円 費用弁償 45千円		費用弁償 45千円	委員報償 350千円 費用弁償 44千円								
	事業費予算			普通旅費321千円 消耗品 13千円	普通旅費 86千円 消耗品 100千円		普通旅費 244千円 消耗品費 150千円	普通旅費 226千円 消耗品費 250千円								
の	の内容		HATER OILL	車借上料 28千円	HATER TOOTTI		負担金 30千円	負担金 30千円								
推								交付金 2,840千円								
,,,,			開催回数の増に	委員数の増によ	委員数の減によ		小中一貫教育全	統合準備委員会								
移	前年度予算		よる委員報償及	る委員報償の増	る委員報償の減		国連絡協議会加	の開催回数減に								
	との比較 (増減理		び旅費の増	及び視察に関す る旅費及び車借	及び視察に関す		入による負担金 及び小中一貫教	よる委員報償の								
	(瑁滅理由)			る旅貨及び単位 上料の増	る旅貨及び単恒 上料の減		育全国サミット	减。 閉校記念事業交								
							参加旅費の増	付金の増								
			開催回数の減によ る委員報償の減及	費用弁償の減	開催回数の減に		開催回数の減によ る委員報償及び費									
	実績との比較が増減理		びコロナ感染拡大		よる委員報償及び費用弁償の減		用弁償の減及び公									
	牧(増減理 由)				5 JE/13 /1 ISE - 7 II/A											
			めたよる欣良の液				ALIN S. VIIIA	<u> </u>								
	較(増減理		びコロナ感染拡大 による視察取り止 めによる旅費の減		び費用弁償の減		用弁償の減及ひ公 用車利用による普 通旅費の減									

		7 - RT-IM					1										
		(「手段」を		指標名:適正配置			指標の求め方:言										
成果技	指標 1	(「成果」を	もとに設定)	指標名:小中学村	交の適正配置の進	捗率	指標の求め方:過	<b>適正な規模で適正</b>	に配置されている	市内小中学校の割	副合						
					第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年記	計画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指標 1	_ ,	1, 087	851	851		790	790	790		436	91	C	0		
	指標	(単位/千円	男 実績値 計画値	516 14. 3	1, 071 14. 3	541 14. 3		646 16. 7	16. 7	100.0		100.0	100.0	100.0	100.0		
	725	成果指標 1 (単位/%)		14. 3	14. 3	14. 3		16. 7	10. 7	100. 0		100.0	100.0	100. 0	100.0		
		事業の達成	人根框	14. 3	14. 0	10. 7		10.7									
			ともとに評価)				あまり達成されていない										
		事業の成果 (成果指標を	ともとに評価)				少し上がっている										
		事業の効率	<u></u> 性				変わらない										
		総合評価	リテの灰木)				良好である										
		松白計画		自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
				砂川市立小中学	砂川市立小中学		活動指標につい		B B J M .	B C 77 1/1 .	刊刷程田.	B C // 1/1 .		B C 7 1/1 .		刊刷程用:	
				会及び砂川市小	会及び砂川市小	し、令和8年度	よって増減はあ	会で協議を進									
					中一貫教育推進 委員会を設置		るが、当初の予 定通り、令和4										
				し、小中学校の	し、中学校の統	て、砂川市立小	年度に石山中学	ジャージのデザ									
事				統合及び小中一	合、義務教育学	中学校統合準備	校を閉校し、令 和5年度に砂川	インを決定した。また、砂川									
	評			ついて協議を実	中一貫教育の推	進め、校名を	中学校へ統合し	市小中一貫教育									
務	価			ついて協議を実 施している。ま た、今後におい	進について協議	「砂川市立砂川	た。また、令和	推進委員会にお									
333	内			∥ても、令和5年	通り石山中学校	た。また、砂川	育学校の開校に	教頭及び教職員									
由	容	総	合評価の判断	度の中学校統	を閉校し、砂川	市小中一貫教育	向けた協議が順	等で構成する									
<b>*</b>		埋の	田または指標 実績値に関す	合、令和8年度 に小学校の統	中学校との統合 を行った。	推進安員宏においても、令和7	調に進んでいることから、良好	ソーキンググ ループを設置									
****			自己分析	合、義務教育学	今後において	年度からの小中	であると判断し	し、令和7年度									
莱				校の開校に向け   て協議を行い、	の義務教育学校	ー貫教育の導入 に向けた協議・	/= ·	からの小中一貫 教育の導入及び									
				小中学校の適正	の開校に向けた	取組みを行って		砂川学園の行事									
評				配置に務める。	具体的な協議を 行い、小中学校	いる。		や教育課程など の協議を行って									
					の適正配置に務			いる。									
価					める。												
		^% o t ti	J.H.				現状のまま継続										
		今後の方向	1±	D5 ·			現状のまま継続	R8 ·				R10 :				l .	
						砂川市立小中学校		NO :				KIU:					
						義務教育学校の制						1					
						教育推進委員会に の推進に向けた取											
	方向付	生の判断理由	<b>a</b>	実施されている。	また、義務教育	学校の建設を進め	るにあたり、子										
	改善、	改革の内容				ショップ、意見収 基本設計書を策定											
	(R5,	R8、R10)		は学校名の公募る	を実施するなど、	開校に向けた準備											
				とから、「現状の	かまま継続」とし	<i>T</i> = 。											
												1					

#### [PLAN]

事務事業の目的と用	<b></b>										総合戦略掲載	0	過疎計画掲載	0	
事 業 名	義務教育学校	建設事業			事業期間	令和 6	6年度 ~ 令	和9年度	]						-
事業性質区分	新規・継続	新規	建設・建設外	建設	第7期総合計画 の位置付け	3-2-8	他に関連する 基本事業						所管課係	学校再編課	学校再編係
目的 (何のために実施する のか)	市内小学校 5 校 8	を統合し、小学校	と中学校が一体と	なった義務教育な	学校を建設する。			手段 (どのような方法で 実現するのか)	て、令和8年度1・令和6~7年月	に開校予定の義務 度 校舎、屋内体	教育学校の建設エ 育館及びグラウン	事を令和6年度よ ド造成(陸上トラ	り実施する。 iック)	交の基本設計・実施 ウンド造成(野球タ	
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内に居住する流	満6才から満15	歳までの義務教育	学校に通う児童	・生徒			成果 (どのような効果が 得られるのか)	な指導や系統性 などにより困り原	・連続性を意識し	た教育による学力 ャップの解消、異	の向上や、中学校	への進学に伴う	育を展開すること( 学習や生活環境、 る規範意識の向上が	人間関係の変化

子供たちの「生きる力」を育むことができる。

対象 (錐・何を対象として 市内に居住する満 6 才から満 1 5 歳までの義務教育学校に通う児童・生徒いるのか)

事業開始時の状況・これまでの経

#### [DO]

実績

				第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年記	画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国 費					0	708, 481, 000	., , ,		2, 554, 918, 000					0	2, 554, 918, 000
		予算計上額				0	708, 481, 000			3, 884, 259, 000					0	3, 884, 259, 000
		実績額				0	325, 002, 000			325, 002, 000					0	325, 002, 000
	道費	計画額				0	14, 425, 000	,,		72, 129, 000					0	72, 129, 000
		予算計上額				0	14, 425, 000	67, 600, 000		82, 025, 000					0	82, 025, 000
		実績額				0	6, 537, 000			6, 537, 000					0	6, 537, 000
	地 方 債					0	61, 200, 000	0, 101, 000, 000	951, 000, 000	6, 443, 800, 000	181, 000, 000				181, 000, 000	
投		予算計上額				0	61, 200, 000	5, 086, 000, 000		5, 147, 200, 000					0	5, 147, 200, 000
		実績額				0	456, 400, 000			456, 400, 000					0	456, 400, 000
入	そ の 他	計画額				0				0					0	0
ŧ		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
れ	一般財源	計画額				0	7, 518, 000	441, 416, 000	1, 446, 000	450, 380, 000					0	450, 380, 000
,		予算計上額				0	7, 518, 000	236, 797, 000		244, 315, 000					0	244, 315, 000
<i>t</i> =		実績額				0	3, 442, 000			3, 442, 000					0	3, 442, 000
事	事業費合計	計画額	0	0	0	0	791, 624, 000	7, 777, 157, 000	952, 446, 000	9, 521, 227, 000	181, 000, 000	0	0	0	181, 000, 000	9, 702, 227, 000
		予算計上額	0	0	0	0	791, 624, 000	8, 566, 175, 000	0	9, 357, 799, 000	0	0	0	0	0	9, 357, 799, 000
業		実績額	0	0	0	0	791, 381, 000		0	791, 381, 000	0	0	0	0	0	791, 381, 000
費							委託料	手数料 1,020千円 委託料 84,309千円								
其	事業費予算						102,364千円 工事請負費	工事請負費 8,271,095千円								
の	の内容						工事明長長 689. 260千円	用地買収費								
								3,321千円 備品購入費								
推								206, 430千円								
移	前年度予算						設計完了による 委託料の減及び									
15	との比較 との比較						義務教育学校建	工事請負負の増及び用地買収								
	(増減理						設による工事請	費、備品購入費								
	由)						負費の増	等の増								
							入札による委託									
	実績との比						料の減									
	較(増減理															
	由)															
							1									

活動	指標 1	(「手段」	をもとに設定)	指標名:義務教	育学校の建設コス	٢	指標の求め方:	義務教育学校建設	事業の実施に対す	る支出額							
成果	指標 1	(「成果」	をもとに設定)	指標名:数値化する	ことが困難なため指棋	を設定しない	指標の求め方:	数値化することが	困難なため指標を	設定しない							
						3 力年計画				3 力年計画				3次実施4力年			第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年合計	第4年次(6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次(9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施 4 力年 合 計	総合計画合計
		活動指標	1 計画値		(十一)及/	(0十/支)		791, 624	7, 777, 157	952, 446		181,000		(11+12)	(12十/文)		
	指	(単位/=	千円) 実績値					791, 381									
	標	成果指標 (単位/		}				<u> </u>		<u> </u>		<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>		
		事業の達	N INCIE					_	_	_		_	_	_	_		
		(活動指標	標をもとに評価)														
		事業の成 (成果指標	t果 標をもとに評価)														
		事業の効 (事業費)	)率性 に対する成果)														
		総合評価	i														
				自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析: 基本設計及び実	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
								施設計に基づ									
								き、工事が発 注、実施されて									
								いる。 また、開校に向									
事								けた備品調査等も順調に進んで									
	評							いる。									
務	価内																
	容		総合評価の判断	=													
事			型由または指標 の実績値に関す	E-R													
業			る自己分析														
==																	
評																	
価																	
ІЩ																	
		今後の方	i 向性														
				R5 :				R8 :				R10 :					
	方向付改善。	生の判断理	理由 为容														
	(R5.	R8 R10	))														